
UFJホールディングス

【データブック】
2004年度決算説明会



2005年5月31日（火）

本書には、株式会社UFJホールディングス（以下「当社」という）およびそのグループ会社（以上あわせて「当グループ」という）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の有価証券報告書、最新のディスクロージャー誌、Annual Report、株主総会招集通知、株式会社三菱東京フィナンシャル・グループから米国証券取引委員会宛に提出したForm F-4をご参照下さい。

また、本書に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料の計数は日本会計基準ベースの数値を使用しています。

経営統合に関するリスクファクター

本プレゼンテーションで紹介する経営統合や業績目標の達成およびその他の将来に関する情報には、以下に示したような、さまざまな不確実性やリスクが伴います。これらのリスクの詳細については、MTFGから米国証券取引委員会に提出される予定であるフォームF-4などのMTFGおよびUFJホールディングスの公開情報をご参照ください。

- MTFGとUFJの業務の一体化にあたり直面しうる様々なリスク
 - 両グループの保有ポートフォリオの資産価値が著しく低下するリスク
 - 両グループの国内外の店舗ネットワークや本部機構を一体化させるにあたり直面しうる様々な問題
 - 両グループの事務・システムの一体化にあたり直面しうる様々な問題
 - 両グループの異なる社風や人員をまとめる難しさ
 - 大規模な組織に一律の内部統制システムや情報開示方針などの諸制度を導入・維持する難しさ
 - 戦略的提携先との関係が悪化するリスク
- 統合後の新会社（「MUFG」）の顧客基盤が損なわれるリスクとそれにより事業規模の拡大が困難になるリスク
- マーケット規模が想定どおりに拡大しない結果、下記分野等の収益拡大目標が達成されないリスク
 - 住宅ローン
 - 投資銀行業務
 - 年金業務
 - 投信業務
 - 富裕層向け運用商品
- 業績予想の前提となるマクロ経済シナリオ（特に金利変動シナリオ）に誤差があり、業績予想値が実際の数値と大きく食い違うリスク
- MUFGがその事業戦略の目標を達成できないリスク要因
 - 国内の景気の低迷
 - 国内の株価や不動産価格の低迷
 - 国内の法令諸規制の変更
 - 国内外の競争環境の激化
 - 価格競争が激化する中、やむを得ず手数料率を引き下げるリスク
 - 競争が激化する中、商品性での差別化が困難になるリスク
- ビジネス環境の変化によるリスク
 - 様々な金融商品のクロス・セルが不調に終わるリスク
 - 人員の配置に不具合が生じるリスク
 - 経営統合のシナジー効果を実現できないリスク
- MUFGの事業戦略に関連するリスク
 - 消費者ローンや中小企業向けローンの強化が新たな不良債権問題を生み出すリスク
 - 新商品における金利リスク
 - 海外事業における外国為替変動リスク
- 住友信託銀行のUFJに対する新たな訴訟の提起などにより経営統合またはその日程に遅れその他の影響が生じたり、多大な追加費用が発生するリスク
- 経営統合に必要な当局の許認可等の取得に遅滞または障害が発生したり、許認可等に想定外の条件が付されるリスク

目次

損益の状況

● 損益の状況	2
● 資金利益（貸出金・預金）	4
● 運用・調達	7
● 資産・負債の状況	8
● 非資金利益	9
● 財務管理業務収益	10
● 経費・その他損益	11
● 連結収益	12

資産健全化に向けた取組み

● 与信関連費用	14
● 金融再生法開示債権	15
● これまでに確定した主要な大口先再生策	16
● ポートフォリオ推移	18
● 格付別ポートフォリオ	19
● 金額階層別与信ポートフォリオ	20
● 債務者区分遷移の状況	21
● 保全率・引当率	22
● 最終処理（危険債権以下）の進展	23
● UFJストラテジックパートナー	24
● 株式ポートフォリオ	25
● UFJエクイティ・インベストメンツ・UFJトラストエクイティ	26

目次

収益力強化に向けた取組み

● 部門別収益状況	28
● UFJ銀行：リテール	29
● UFJ銀行：法人	35
● UFJ銀行：市場国際	42
● UFJ信託銀行	46
● 子会社・関連会社収益	49
● 証券ビジネス	50
● 資産運用ビジネス	52
● リース・ファクタリング ビジネス	53
● クレジットカード・消費者金融ビジネス	55

自己資本の状況

● BIS連結自己資本比率	57
● 自己資本・リスクアセット	58
● 繰延税金資産残高	59
● 繰延税金資産の算入根拠等	60

参考資料

● 主な子会社・関連会社の状況	63
● UFJホールディングス発行済み株式	65
● UFJホールディングス株主構成	66

< 本資料中の計数の定義 >

HD連結 : UFJホールディングス連結

UFJ銀行 : UFJ銀行単体 + UFJストラテジックパートナー (UFJSP) + UFJエクイティ・インベストメンツ (UFJEI)

UFJ信託 : UFJ信託単体 + UFJトラストエクイティ (UFJTE)

損益の状況

損益の状況

< UFJ銀行 + UFJ信託 >

(単位：百万円)

	04年度	03年度	増 減
業 務 粗 利 益	1,299,104	1,362,380	63,275
国内業務粗利益	1,040,752	1,078,798	38,045
資金利益	668,768	707,220	38,452
信託報酬(償却前)	60,190	66,575	6,384
役務取引等利益	222,705	197,134	25,571
特定取引利益	7,594	5,272	2,322
その他業務利益	81,494	102,596	21,101
国際業務粗利益	258,351	283,581	25,230
資金利益	69,623	72,995	3,371
信託報酬	42	46	3
役務取引等利益	26,714	23,285	3,429
特定取引利益	12,676	141,414	128,737
その他業務利益	149,294	45,840	103,453
経 費(除く臨時処理分)()	531,595	567,736	36,141
人 件 費 ()	165,568	210,225	44,656
物 件 費 ()	335,561	329,080	6,480
税 金 ()	30,465	28,430	2,035
実 質 業 務 純 益	767,509	794,643	27,134
除く国債等債券関係損益	691,733	673,309	18,424
一般貸倒引当金繰入額()	6,569	342,356	335,786
業 務 純 益	760,939	452,287	308,652
うち国債等債券関係損益	75,775	121,334	45,559
臨 時 収 支	1,490,523	879,497	611,026
うち株式関係損益	225,255	327,537	552,793
うち不良債権処理額	1,049,857	1,031,972	17,884
貸出金償却	527,489	390,978	136,510
個別貸倒引当金繰入額	31,603	522,444	490,840
買取機構完債権売却損	-	90	90
貸出債権流動化・売却損等	165,748	83,531	82,216
貸出債権流動化・売却益等	32,624	21,626	10,997
取引先支援損	357,640	52,973	304,666
特定債務者支援引当金繰入額	-	5,057	5,057
特定海外債権引当勘定繰入額	0	1,477	1,477
うち信託勘定不良債権処理額	8,851	16,930	8,078
うち元本補填等	3,028	-	3,028
うち東京都・大阪府外形標準事業税	-	6,034	6,034
うち退職給付関係損益	24,384	44,379	19,995
うち投資損失引当金繰入額	64,550	51,913	12,636
うち補償請求権損失引当金繰入額	14,522	-	14,522
うち子会社発行の新株予約権に係る損失	48,600	-	48,600
経 常 利 益	729,584	427,209	302,374

(単位：百万円)

	04年度	03年度	増 減
経 常 利 益	729,584	427,209	302,374
特 別 損 益	322,890	90,518	232,372
うち不動産不動産処分損益	39,937	19,307	59,244
うち償却債権取立益	58,961	53,773	5,188
うち債権売却損失引当金戻入額	-	237	237
うち貸倒引当金戻入額(一般・個別・特海債)	220,329	25,680	194,649
うち退職給付信託解約益	38,325	-	38,325
うち退職給付信託設定損益	-	40,887	40,887
うち東京都外形標準課税に係る還付金等	-	25,695	25,695
うち退職給付会計導入変更時差異償却	26,315	26,315	0
税引前当期純利益	406,693	336,691	70,002
法人税、住民税及び事業税()	1,267	3,562	2,295
法人税等調整額()	273,992	35,338	238,653
当期純利益	681,953	375,593	306,360

与信関連費用	789,016	1,311,567	522,551
--------	---------	-----------	---------

国債等債券関係損益

	04年度	03年度	増 減
国債等債券関係損益	75,775	121,334	45,559
売却益	141,546	219,079	77,532
償還益	105	158	52
売却損	63,785	95,608	31,822
償還損	1,046	2,036	990
償却	1,045	258	786

株式関係損益

	04年度	03年度	増 減
株式関係損益	225,255	327,537	552,793
売却益	213,231	397,795	184,564
売却損	31,911	57,774	25,862
償却	406,575	12,483	394,091
<ご参考> 株式売切り簿価(取得原価)	550,412	897,015	346,603

損益の状況

< HD連結 >

	04年度	03年度	増 減
連 結 粗 利 益	1,577,886	1,625,265	47,378
資金利益	803,433	825,012	21,579
信託報酬（償却前）	60,087	66,338	6,250
役務取引等利益	425,270	387,797	37,473
特定取引利益	53,930	188,019	134,088
その他業務利益	235,164	158,097	77,066
営業経費（ ）	730,478	773,036	42,558
一般貸倒引当金繰入額（ ）	-	280,039	280,039
臨 時 収 支	1,344,239	969,843	374,395
うち株式関係損益	133,650	239,183	372,834
うち銀行勘定不良債権処理額	1,086,311	1,134,302	47,990
貸出金償却	554,791	426,304	128,486
個別貸倒引当金繰入額	-	559,625	559,625
買取機構宛債権売却損	-	495	495
貸出債権流動化・売却損等	206,914	112,764	94,150
貸出債権流動化・売却益等	33,034	21,626	11,407
取引先支援損	357,640	52,973	304,666
特定債務者支援引当金繰入額	-	5,057	5,057
特定海外債権引当勘定繰入額	-	1,292	1,292
うち 信託勘定不良債権処理額	8,851	16,930	8,078
うち 元本補填等	3,028	-	3,028
うち 補償請求権損失引当金繰入額	14,522	-	14,522
うち 子会社発行の新株予約権に係る損失	48,600	-	48,600
うち 持分法による投資損益	4,011	7,887	3,875
経 常 利 益	496,830	397,654	99,176
特 別 損 益	262,288	65,908	196,379
うち 動産不動産処分損益	39,975	20,834	60,810
うち 償却債権取立益	50,902	54,993	4,090
うち 債権売却損失引当金戻入額	-	237	237
うち 貸倒引当金戻入額（一般・個別・特海債）	171,755	-	171,755
税金等調整前当期純利益	234,542	331,745	97,202
法人税、住民税及び事業税（ ）	17,871	14,127	3,744
法人税等調整額（ ）	280,121	36,929	243,192
少数株主利益（ ）	21,995	20,003	1,992
当期純利益	554,532	402,806	151,725
与信関連費用	875,533	1,376,040	500,506

	04年度	03年度	増 減
営業収益	7,588	20,416	12,828
営業費用	3,941	2,791	1,150
営業利益	3,647	17,625	13,978
経常利益	2,272	16,587	18,859
税引前当期利益	2,824,244	8,123	2,832,368
当期純利益	2,827,492	10,646	2,838,138

	04年度	03年度	増 減
連結業務純益（試算）	8,987	6,314	2,673
連結業務純益(信託勘定償却後)(試算)	8,899	6,145	2,754

(注) 連結業務純益 = 子銀行単体業務純益 + 当社単体利益(*) + その他連結子会社利益(*) + 持分法適用会社利益(*) × 持分比率 = 内部取引等連結調整

(*) 当社単体利益、その他連結子会社利益及び持分法適用会社利益は、

(資金利益 + 役務取引等利益 + 特定取引利益 + その他業務利益) - 営業経費 - 一般貸倒引当金繰入額

	04年度	03年度	増 減
連結子会社数	100	111	11
持分法適用会社数	26	27	1

資金利益

< UFJ銀行 >

(国内・国際業務合算)

	04年度	03年度	増減	(億円)
資金利益	7,071	7,413	341	3,589
資金運用収益	9,000	9,267	267	4,539
貸出金利息	6,320	6,620	300	3,185
有価証券利息配当金	2,093	1,966	126	1,039
預け金利息	175	166	9	70
金利スワップ受入利息	171	339	168	132
その他	239	173	65	110
資金調達費用	1,929	1,854	74	949
預金利息(CD含む)	687	587	99	315
社債・借入金利息	1,074	1,020	53	552
金利スワップ支払利息	-	-	-	-
その他	167	245	77	81

資金利益 (341億円)

貸出金利息： 300億円 (国内 334、海外+34)

- 国内 (貸出平残 8,645億円、利回 5bp)
 - 住宅ローンは増加の一方、法人貸出は不良債権処理などにより減少
- 海外 (貸出平残 1,674億円、利回+31bp)
 - 欧米貸出減少するも海外金利上昇

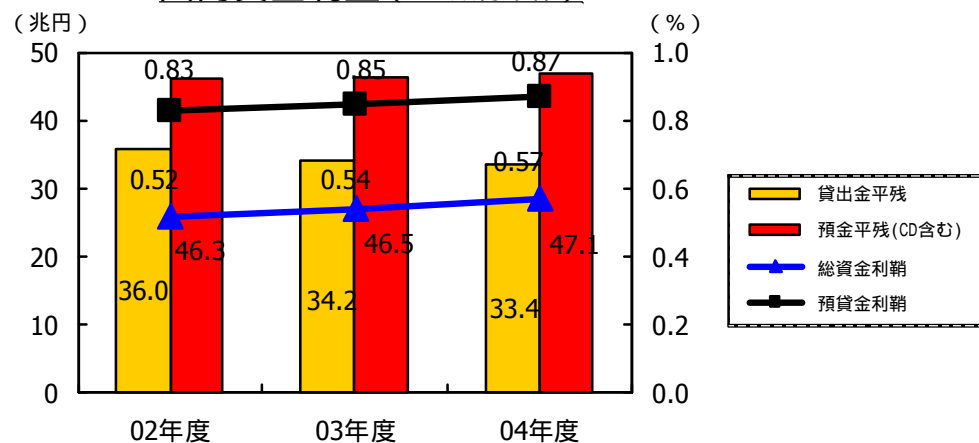
預金利息 (CD含む)： +99億円 (国内 15、海外+114)

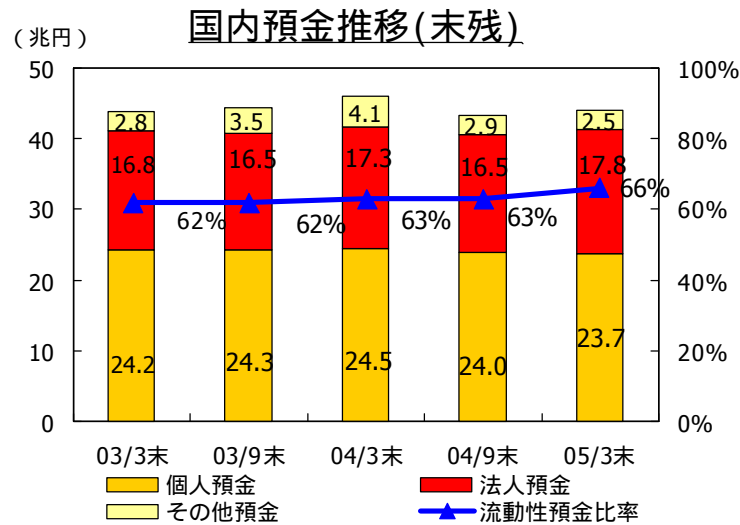
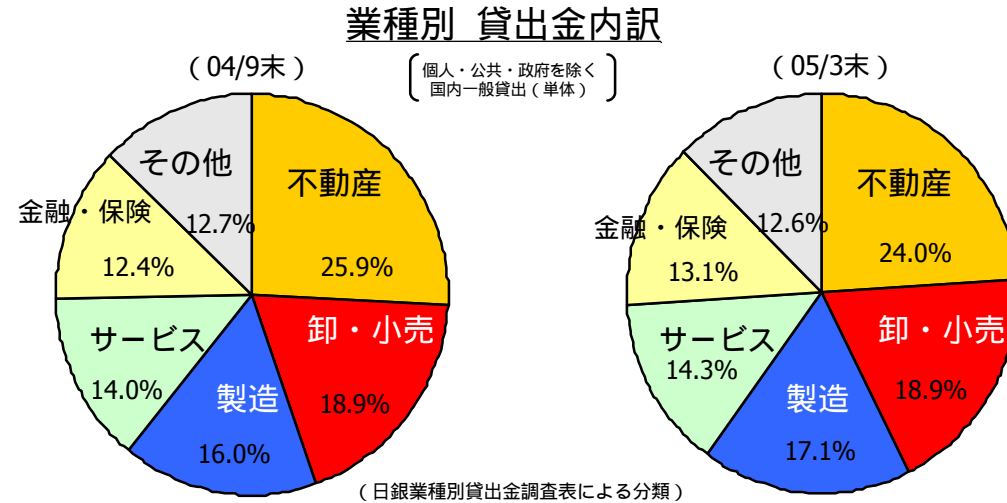
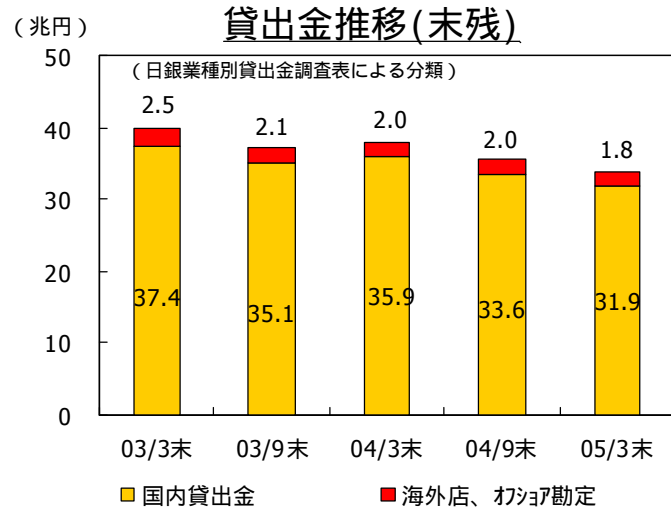
- 国内 (預金平残+5,919億円、利回 0bp)
 - 預金+2,219億円、譲渡性預金+3,700億円
- 海外 (預金平残 2,135億円、利回+28bp)
 - 海外市場金利上昇

有価証券利息配当金： +126億円

- 国債： +4億円 (平残 0.6兆円、利回+2bp)
- 社債： +3億円 (平残+0.5兆円、利回 23bp)
- 株式： 55億円
- 外国証券： +140億円 (平残+0.6兆円、利回 29bp)

国内資金利益 (UFJ銀行単体)





貸出金・預金

- 貸出金残高： 末残 33.7兆円 (04/9末比 1.9兆円)
平残 35.9兆円 (04/9期比 0.9兆円)
- 中小企業・個人等向け貸出比率：69.9% (04/9末比+1.3%)
- 国内預金残高： 末残 44.2兆円 (04/9末比+0.6兆円)
平残 46.3兆円 (04/9期比 0.6兆円)

資金利益

< UFJ信託 >

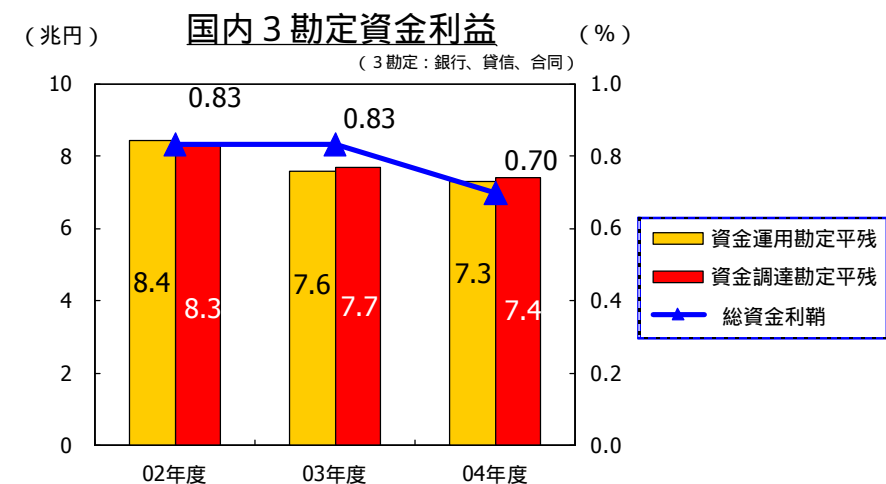
(国内・国際業務合算)

(億円)

	04年度	03年度	増減	04上期
資金利益	312	388	76	166
資金運用収益	470	564	94	251
貸出金利息	317	402	84	171
有価証券利息配当金	144	158	13	73
金利スワップ受入利息	1	-	1	1
その他	6	4	2	4
資金調達費用	157	175	18	84
預金利息(CD含む)	50	73	22	28
社債・借用金利息	30	30	0	16
金利スワップ支払利息	-	5	5	-
その他	76	66	10	40

< 参考 >

合同・貸付信託	275	346	71	131
---------	-----	-----	----	-----



資金利益 (76億円)

国内業務： 74億円

国際業務： 2億円

- 貸出金利息： 84億円
(貸出平残 1,912億円、利回り 20bp)
➢ 資金需要低下、不良債権処理促進による貸出減
- 預金利息： 22億円
(預金平残 3,282億円、利回り 4bp)
➢ 定期性預金減少
- CD (平残 387億円、利回り 1bp)
- 有価証券利息配当金： 13億円
➢ 債券： + 12億円 (平残+ 1,648億円、利回り+3bp)
➢ 株式： + 4億円
➢ その他： 30億円
(平残+ 431億円、利回り 270bp)

運用・調達

< UFJ銀行、UFJ信託 (UFJSP, UFJEI, UFJTE除く) >

(単位：百万円)

		UFJ銀行			UFJ信託銀行		
		平均残高	収入金額	利回 (%)	平均残高	収入金額	利回 (%)
< 国内業務部門 >							
運	運用勘定	51,922,392	676,947	1.304	5,189,883	43,992	0.847
	うち貸出金	33,481,584	563,884	1.684	2,731,391	31,165	1.141
	うち有価証券	16,789,931	100,212	0.597	2,022,185	12,096	0.598
	うちコールローン	90,477	15	0.017	287,013	3	0.001
	うち債券貸借取引支払保証金	1,358,679	277	0.020	-	-	-
	うち買入手形	139,244	1	0.001	52,980	0	0.001
	うち預け金	2,688	0	0.014	14,322	0	0.000
	調達勘定	56,549,159	44,285	0.078	5,297,980	15,071	0.284
調	うち預金	41,600,002	9,926	0.024	2,913,096	4,783	0.164
	うち譲渡性預金	5,561,998	1,645	0.030	543,798	144	0.026
	うちコールマネー	2,372,300	69	0.003	7,498	0	0.000
	うち売現先勘定	314,203	9	0.003	10	0	0.005
	うち債券貸借取引受入担保金	575,245	121	0.021	13,871	1	0.009
	うち売渡手形	3,468,923	128	0.004	108,942	5	0.005
	うちコマース・ハ゜-ハ゜-	111,128	31	0.028	-	-	-
	うち借用金	528,319	11,347	2.148	48,543	1,722	3.548
< 国際業務部門 >							
運	運用勘定	7,495,366	216,844	2.893	57,737	1,304	2.259
	うち貸出金	2,415,316	66,545	2.755	21,108	618	2.929
	うち有価証券	3,175,679	104,538	3.292	29,767	618	2.076
	うちコールローン	207,612	3,725	1.795	591	6	1.100
うち預け金	909,508	17,565	1.931	5,813	91	1.570	
調	調達勘定	7,384,387	147,966	2.004	56,950	558	0.980
	うち預金	4,780,288	56,789	1.188	11,325	136	1.205
	うち譲渡性預金	20,207	373	1.847	-	-	-
	うちコールマネー	115,990	1,507	1.300	9,414	169	1.802
	うち売現先勘定	313,918	5,820	1.854	-	-	-
	うち債券貸借取引受入担保金	367,079	7,488	2.040	218	4	0.000
	うち売渡手形	4,077	185	4.538	-	-	-
	うち借用金	1,244,264	60,045	4.826	4,500	203	4.524

資産・負債の状況

< UFJ銀行 + UFJ信託 >

	05/3末 UFJ銀行 + UFJ信託			04/3末 UFJ銀行 + UFJ信託			増減 UFJ銀行 + UFJ信託
		UFJ銀行単体	UFJ信託		UFJ銀行	UFJ信託	
資産	762,477	692,389	70,087	804,836	718,433	86,402	42,359
銀行勘定	745,546	692,389	53,156	780,945	718,433	62,512	35,399
信託勘定 ⁽¹⁾	16,931	-	16,931	23,890	-	23,890	6,959
貸出金 ⁽²⁾	367,696	337,668	30,027	419,856	379,634	40,222	52,159
中小企業等向け貸出金 ⁽³⁾	248,845	233,218	15,626	270,479	251,510	18,968	21,633
住宅ローン	79,106	78,053	1,053	74,825	73,612	1,213	4,280
有価証券 ⁽⁴⁾	223,590	202,485	21,104	228,609	207,399	21,210	5,019
国債	135,776	122,198	13,577	133,346	120,018	13,327	2,429
株式	33,051	27,819	5,232	39,274	33,399	5,874	6,222
負債	734,327	668,593	65,734	778,342	696,711	81,630	44,014
銀行勘定	717,396	668,593	48,803	754,451	696,711	57,739	37,054
信託勘定 ⁽⁵⁾	16,931	-	16,931	23,890	-	23,890	6,959
預金・信託元本 ⁽²⁾	512,620	469,028	43,591	541,961	488,139	53,822	29,341
国内法人預金	185,866	178,901	6,964	182,117	173,384	8,732	3,748
国内個人預金	256,265	237,190	19,074	267,543	245,973	21,569	11,277
信託元本	16,050	-	16,050	22,701	-	22,701	6,651

(1) 元本補てん契約のある信託勘定、(2) 銀行勘定 + 元本補てん契約のある合同運用指定金銭信託および貸付信託勘定の合算、(3) 銀行勘定 + 全信託勘定の合算、

非資金利益*

< UFJ銀行 >

* 業務粗利益のうち、資金利益に含まれないもの

運用商品販売等の好調により役務取引等利益増加

(国内・国際業務合算)

	04年度	03年度	増減	(億円) 04上期
役務取引等利益	1,905	1,719	185	919
為替手数料	781	760	21	385
受入為替手数料	965	948	16	481
支払為替手数料	183	188	5	95
その他手数料	1,123	959	164	534
その他受入手数料	1,941	1,740	200	936
その他支払手数料	817	781	36	402
特定取引利益	194	1,436	1,242	59
商品有価証券利益	65	38	26	40
特定取引有価証券利益	14	9	4	11
特定金融派生商品利益	103	1,375	1,272	117
その他の特定取引利益	10	12	1	5
その他業務利益	2,232	1,413	819	1,438
外国為替売買益	1,322	90	1,231	836
債券関係損益(5勘定戻)	688	1,132	444	669
金融派生商品利益	27	140	113	90
債券費・社債費	0	11	11	0
その他	195	60	135	23

- 法人非金利収益等
 - ～ 保証料等 +41億円
 - ～ CLO・M&A +27億円
 - ～ 流動化ビジネス +13億円
- リテール運用商品販売手数料等
 - ～ 投信・変額保険窓販 +84億円

- 顧客向けデリバティブ販売収益 +85億円
- 特定金融派生商品利益減少、外国為替売買益増加の一部は、為替変動に起因する科目間入り繰りによるもの

- 金利低下局面を捉え売却益を確保
国内5勘定戻 664億円

<ご参考>

05/3末 債券含み損益 176億円

UFJ銀行の顧客基盤に対して財務管理業務を積極的に展開

(財務会計ベース)

	04年度	03年度	増減	(億円) 04年上期
信託報酬	602	666	63	277
財務管理業務関連	326	319	7	145
合同・貸付信託	275	346	71	131
役務取引等利益	588	484	104	263
特定取引利益	8	30	21	5
その他業務利益	75	71	3	30

(財務管理収益内訳、管理会計ベース)

	04年度	03年度	増減	(億円) 04年上期
信託報酬	326	319	7	145
その他(役務取引等利益 他)	569	494	75	256
財務管理収益	896	813	83	402
証券代行	330	293	37	164
不動産	189	121	68	76
資産流動化	49	54	6	23
年金・証券業務(*)	211	241	29	86
個人財務管理	117	104	13	53

(*)資産管理業務は03年度より日本マスタートラストへ移管、増減影響額は 32億円

証券代行

- 証券代行受託社数 2,199社(05/3末)は業界首位
- ~ 年間委託替え 52社(05/3末)
- ~ 公開会社受託 901社(05/3末)

不動産

- 大型仲介件数が同年前年比約2倍、収益大幅増加
- 証券化取組額は1.1兆円を超え、残高3位へ躍進

資産流動化

- 一括支払信託の受託は堅調に推移
- ~ 年間受託社数 48社(05/3末)

年金・証券業務

- 厚生年金代行返上に伴うキャッシュ流出がピークとなる一方、パッシブ運用は着実に増加
- 新運用プロダクト(為替OL等)販売好調
- ~ 残高5倍に

個人財務管理

- 株式投信・投資型年金保険窓販好調
- 05/1より、UFJ銀行との間で相続関連業務の代理店導入

経費・その他損益

< UFJ銀行 + UFJ信託 >

経費削減は順調に進捗

(億円)

	04年度	03年度	増減	04上期
経費 ()	5,315	5,677	361	2,683
人件費 ()	1,655	2,102	446	845
物件費 ()	3,355	3,290	64	1,689
税金 ()	304	284	20	149
臨時収支	14,905	8,794	6,110	16,037
株式関係損益	2,252	3,275	5,527	1,002
株式等売却益	2,132	3,977	1,845	1,636
株式等売却損	319	577	258	53
株式等償却	4,065	124	3,940	2,585
不良債権処理額 (信託勘定含む)	10,617	10,489	128	13,111
東京都・大阪府外形標準課税	-	60	60	-
退職給付関係損益	243	443	199	93
投資損失引当金純繰入額	645	519	126	1,349
補償請求権損失引当金繰入額	145	-	145	156
子会社発行の新株予約権に係る損失	486	-	486	-
特別損益	3,228	905	2,323	455
償却債権取立益	589	537	51	234
貸倒引当金戻入額	2,203	256	1,946	-
動産不動産処分損益	399	193	592	31
退職給付信託設定・解約損益	383	408	25	383
退職給付会計導入変更時差異償却	263	263	0	131
東京都外形標準課税還付金等	-	256	256	-

経費

■ 人員削減・賞与カットを主因に361億円減少

株式関係損益

■ 株式関係損益 2,252億円
 ~ うち優先株式償却 2,659億円
 子会社株式償却 1,312億円

< ご参考 >

05/3期株式売却実績 5,504億円 (取得原価ベース)
 05/3末含み損益 +3,890億円

その他臨時収支

■ 投資損失引当金純繰入額 645億円
 ■ 子会社発行の新株予約権に係る損失 486億円
 ~ UFJSPがメリルリンチに発行した新株予約権を見込んだ未払い費用

特別利益

■ 貸倒引当金戻入額 2,203億円
 ~ 大口与信先の金融支援スキーム実行に伴い、引当金の取崩しが発生
 ■ 償却債権取立益計上 589億円
 ~ 債権回収強化を継続

総合金融機能提供を通じてグループ収益力を強化 ～ 粗利益連単差 2,787億円 ～

主な連単差要因 (各社連結計数)

(億円)

	UFJH連結	子銀行合算	連単差
粗利益	15,778	12,991	2,787
資金利益	8,034	7,383	650
信託報酬 (償却前)	600	602	1
役務取引等利益	4,252	2,494	1,758
特定取引利益	539	202	336
その他業務利益	2,351	2,307	43
営業経費 ()	7,304	5,315	1,988
一般貸倒引当金繰入額 ()	-	65	65
株式関係損益	1,336	2,252	916
不良債権処理額	10,951	10,587	364
持分法による投資損益	40	-	40
経常利益	4,968	7,295	2,327
特別損益	2,622	3,228	606
少数株主利益 ()	219	-	219
当期純利益	5,545	6,819	1,274
与信関連費用	8,755	7,890	865
実質業務純益	8,987	7,675	1,312

< 資金利益* >

泉州銀行	299	UFJカード	245
------	-----	--------	-----

< 役務取引等利益* >

UFJ信用保証	565	UFJつばさ証券	490	UFJカード	376
---------	-----	----------	-----	--------	-----

< 特定取引利益* >

UFJつばさ証券	286
----------	-----

< 持分法による投資損益 >

中京銀行	18	カドットコム証券	10	モビット	5
------	----	----------	----	------	---

< 与信関連費用 >

UFJ信用保証	621	UFJカード	84	泉州銀行	53
---------	-----	--------	----	------	----

*連結調整前

UFJ銀行+UFJ信託+UFJSP+UFJEI+UFJTE

資産健全化に向けた取組み

与信関連費用

< UFJ銀行 + UFJ信託 >

勘定科目別与信関連費用

(億円)

04年度実績
(億円)

一般貸倒引当金繰入額	65
貸出金償却	5,274
個別貸倒引当金純繰入額	316
貸出債権流動化・売却損(ネット)	1,331
取引先支援損	3,576
銀行勘定不良債権処理額	10,498
信託勘定不良債権処理額	88
元本補填等	30
償却債権取立益	589
貸倒引当金戻入額	2,203

大口先*	1,128
大口先以外	1,698
債務者の業況悪化等 (格上げ分ネット後)	4,000
担保価値下落・流動化コスト	1,232
保全強化・回収に伴う 引当戻入れ	2,944
償却債権取立益	589
引当率変更影響	5,062

与信関連費用

7,890億円

* 大口債務者のうち、04年3月末時点で、対応が急務であった先

金融再生法開示債権

< UFJ銀行 + UFJ信託 >

(銀行勘定・信託勘定合算)

(単位：百万円)

	05年3月末 (A)	04年9月末 (B)	増 減 (A) - (B)	04年3月末 (C)	増 減 (A) - (C)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	175,744	259,508	83,763	304,438	128,693
危険債権	677,305	3,270,993	2,593,688	1,483,656	806,351
要管理債権	863,246	623,814	239,431	2,161,273	1,298,027
金融再生法開示債権小計	1,716,296	4,154,316	2,438,020	3,949,368	2,233,072
うち 要管理先非開示債権	190,228	133,944	56,284	570,340	380,111
うち その他要注意先債権	2,258,446	1,955,214	303,231	2,850,910	592,464
正常債権	39,915,746	39,909,293	6,452	42,463,357	2,547,610
金融再生法開示債権総額	41,632,042	44,063,609	2,431,567	46,412,725	4,780,682
部分直接償却額	1,058,088	1,215,077	156,988	1,328,567	270,479

これまでに確定した主要な大口先再生策 (1)

ダイエー	<p>アドバンテッジパートナーズ及び丸紅がスポンサーに決定</p> <ul style="list-style-type: none">■ アドバンテッジパートナーズ及び丸紅が620億円の第三者割当増資を引受け、産業再生機構がDES400億円、金銭出資100億円を実施。■ 金融支援概要： 債権放棄 4,004億円（うちUFJ分 2,031億円） 優先株式消却 1,920億円（うちUFJ分 960億円）
大京	<p>オリックスがスポンサーに決定</p> <ul style="list-style-type: none">■ オリックスが230億円の第三者割当増資を引受け。■ オリックスからの調達資金により、産業再生機構が保有する債権は全額弁済。■ 金融支援概要： 債権放棄 1,035億円（うちUFJ分 815億円） 優先株式発行 UFJ銀行が300億円全額引受（DES）
双日	<p>計画通り、資本増強および資産健全化処理を完了</p> <ul style="list-style-type: none">■ 4,300億円の損失処理を実施、6,200億円の資産を圧縮。■ 通期見通しに対し、営業利益・経常利益ともに超過達成。■ 資本増強の内容： 優先株式発行 3,600億円（うちUBSグループが100億円引受） ➢ うちUFJ銀行が3,300億円引受（DES） 転換社債型新株予約権付社債発行 100億円（UBSグループが引受）

これまでに確定した主要な大口先再生策 (2)

藤和 不動産

三菱地所がスポンサーに決定

- 総額249億円の第三者割当増資を実施。
- 金融支援概要： 債権放棄 約782億円（全額をUFJが負担）
UFJ銀行保有の同社発行優先株式の三菱地所への譲渡
（譲渡に伴う損失 約78億円）

ミサワ ホーム

トヨタ自動車を含む3社がスポンサーに決定

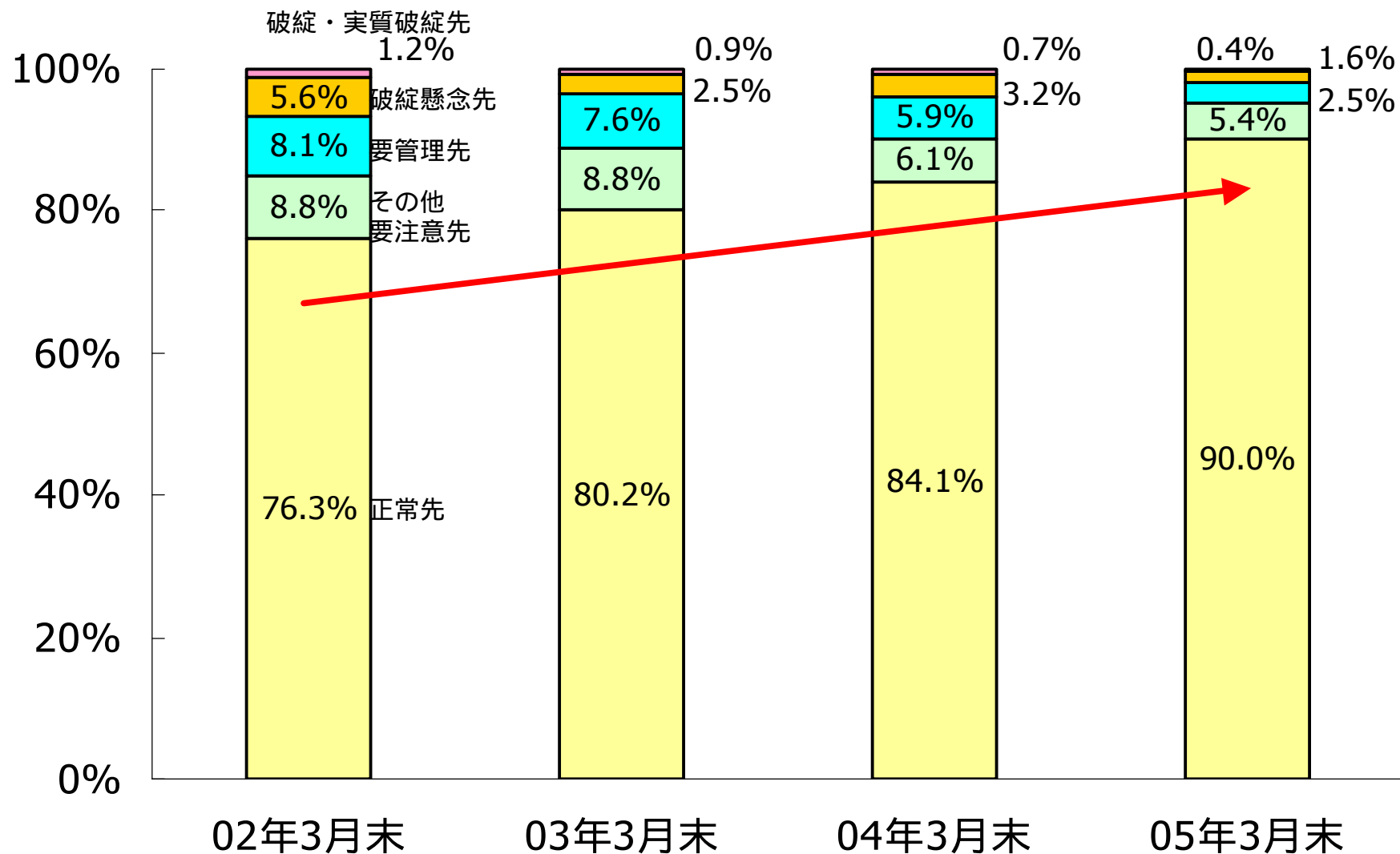
- スポンサーに対して、258億円の第三者割当増資を実施予定（05年6月下旬払込予定）
- 金融支援概要： 債権放棄 約 1,200億円（うちUFJ分 約850億円）
（05年6月上旬に実施予定） DES 200億円（全額をUFJが引受）
優先株式無償消却 1,080億円（全額UFJが負担）

アプラス

貸出債権の売却、返済受け入れ等により、融資残高はゼロに

- 貸出金940億円を新生銀行にディスカウントにて売却後、同行が債権放棄を実施。
残債については返済受け入れ
- 新生銀行は子会社を通じ、同社普通株式350億円を引受、連結子会社化
- UFJ銀行が保有する同社優先株式300億円（額面）を新生銀行に譲渡
- 同社の信用保証事業(1,900億円)は、十分な引当金を積んだ上でUFJ銀行が分割承継

資産の良化は着実に進展



格付別ポートフォリオ

< UFJ銀行 + UFJ信託 >

(億円)	05年3月末		04年9月末		04年3月末	
	うち中小企業		うち中小企業		うち中小企業	
格付 1 - 3	115,763	48,311	117,950	46,707	129,151	53,916
格付 4、5	82,344	44,984	81,441	42,216	80,574	43,188
格付 6	30,741	16,265	32,839	16,148	33,389	19,403
格付 7	21,492	12,066	22,043	12,202	26,173	13,430
個人・無格付等	124,329	6,518	123,925	6,090	121,131	6,250
その他要注意先	22,584	10,459	19,552	11,241	28,509	16,195
要管理先	10,534	3,371	7,577	4,441	27,316	7,081
破綻懸念先	6,773	3,040	32,709	11,329	14,836	6,798
実質破綻・破綻先	1,757	1,110	2,595	1,763	3,044	2,022
計	416,320	146,128	440,636	152,143	464,127	168,286

中小企業定義： 小売業（従業員50人未満、資本金5千万円未満） サービス業（従業員100人未満、資本金5千万円未満）
卸売業（従業員100人未満、資本金1億円未満） その他企業（従業員300人未満、資本金3億円未満）

大口問題先への与信集中はほぼ一掃

05年3月末

(億円)

与信残高/債務者	与信残高					
	~ 30億円	~ 100億円	~ 300億円	~ 500億円	~ 1,000億円	1,000億円 ~
正常先	230,304	45,396	30,045	13,929	20,500	34,493
その他要注意先	10,505	2,781	2,437	851	2,272	3,736
要管理先	3,766	1,499	2,083	0	0	3,184
破綻懸念先	3,548	836	860	332	0	1,193
実質破綻・破綻先	1,086	375	296	0	0	0
計	249,210	50,890	35,722	15,114	22,773	42,608

04年9月末

(億円)

与信残高/債務者	与信残高					
	~ 30億円	~ 100億円	~ 300億円	~ 500億円	~ 1,000億円	1,000億円 ~
正常先	226,809	45,980	30,667	14,201	20,986	39,555
その他要注意先	9,991	3,248	2,259	472	2,376	1,204
要管理先	3,829	1,184	1,582	419	560	0
破綻懸念先	5,515	2,847	2,135	1,677	3,992	16,542
実質破綻・破綻先	1,466	430	327	370	0	0
計	247,612	53,692	36,973	17,141	27,915	57,302

増減

(億円)

与信残高/債務者	与信残高					
	~ 30億円	~ 100億円	~ 300億円	~ 500億円	~ 1,000億円	1,000億円 ~
正常先	3,494	583	622	271	485	5,061
その他要注意先	513	467	177	378	103	2,531
要管理先	63	315	500	419	560	3,184
破綻懸念先	1,966	2,010	1,274	1,344	3,992	15,348
実質破綻・破綻先	380	55	31	370	0	0
計	1,598	2,801	1,250	2,027	5,141	14,693

債務者区分遷移の状況 (大口先* 除く)

< UFJ銀行 + UFJ信託 >

破綻懸念以下への格下げは大幅に減少

04年9月末～05年3月末 (大口先*を除く、部分直接償却前)

(億円)

		05年3月末					
		正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先	実破・破綻先	計
04年9月末	正常先	365,300	3,146	364	150	48	369,007
	要注意先	685	8,536	1,241	805	567	11,834
	要管理先	365	396	2,949	426	69	4,206
	破綻懸念先	31	273	53	2,153	1,414	3,925
	実破・破綻先	2	5	1	0	873	880
	計	366,383	12,357	4,606	3,535	2,971	389,852
その他**		8,136	5,181	1,293	1,181	442	16,233
総計		374,519	17,538	5,899	4,716	3,413	406,085

* 大口債務者のうち 04年3月末時点で、対応が急務であった先

** 個人ローン、残高が一定額未満の一般貸など、個別に自己査定を実施していないもの、
期初残高ゼロの新規先に対するもの 等

保全率・引当率

< UFJ銀行 + UFJ信託 >

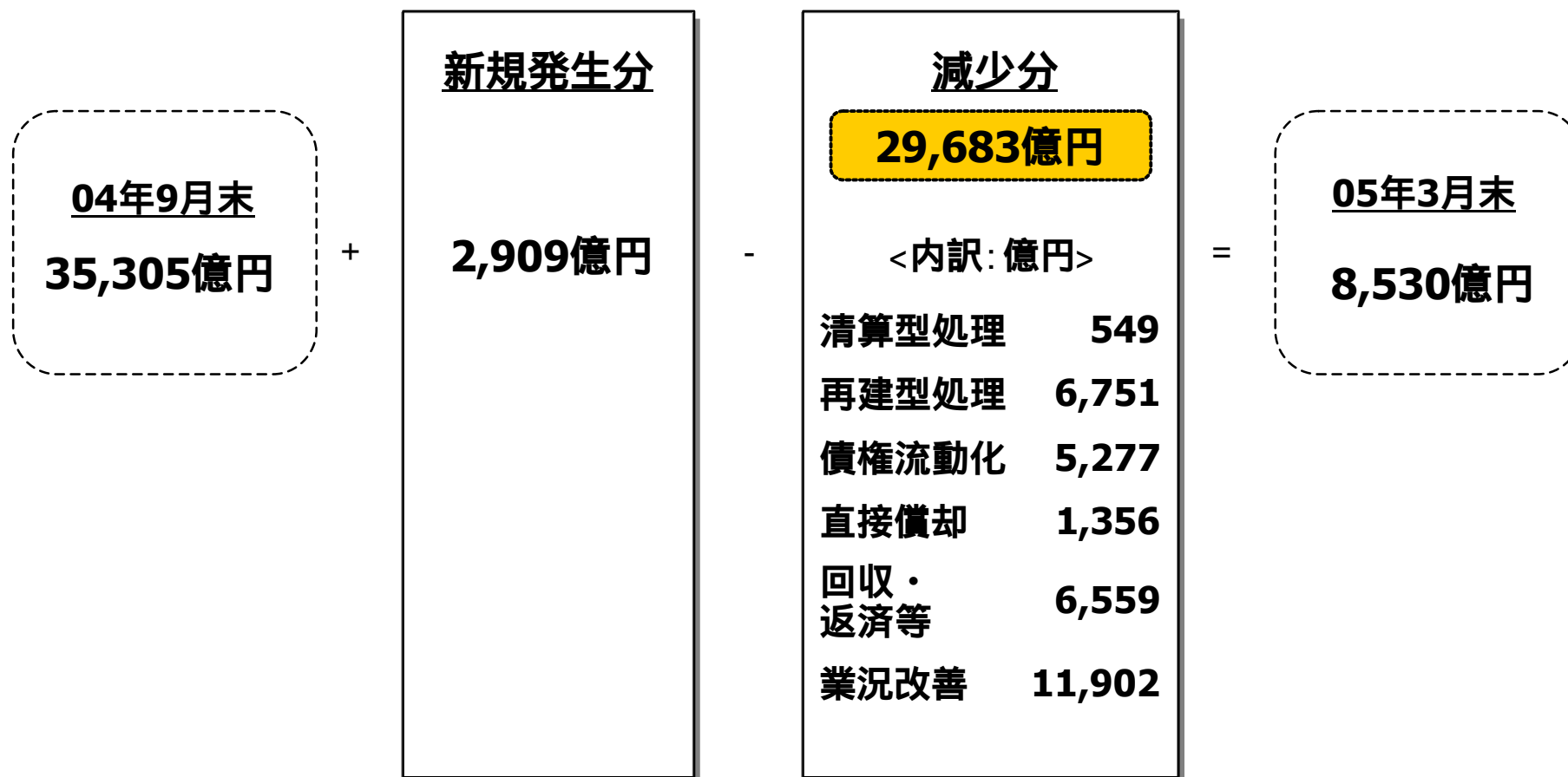
	05年3月末			04年9月末			04年3月末		
	2行 + UFJSP 合算	UFJ銀行 + UFJSP	UFJ信託	2行 + UFJSP 合算	UFJ銀行 + UFJSP	UFJ信託	2行 + UFJSP 合算	UFJ銀行 + UFJSP	UFJ信託
破産更生等債権全体に対する 保全率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
うち非保全部分に 対する引当率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
危険債権全体に対する保全率	83.31%	83.70%	71.07%	71.52%	71.98%	66.42%	89.58%	88.73%	94.34%
担保・保証等によるもの	36.65%	36.73%	34.27%	23.33%	23.26%	24.17%	44.08%	39.54%	69.27%
引当によるもの	46.65%	46.96%	36.80%	48.18%	48.72%	42.25%	45.50%	49.18%	25.06%
うち非保全部分に 対する引当率	73.65%	74.24%	55.99%	62.85%	63.49%	55.72%	81.38%	81.36%	81.57%
要管理先債権全体に対する 保全率	62.61%	63.02%	56.48%	72.42%	74.07%	52.03%	62.82%	65.07%	35.44%
担保・保証等によるもの	22.05%	21.98%	23.06%	42.16%	43.02%	31.55%	27.75%	28.34%	20.58%
引当によるもの	40.56%	41.03%	33.42%	30.26%	31.05%	20.47%	35.07%	36.72%	14.85%
うち非保全部分に 対する引当率	52.04%	52.60%	43.44%	52.32%	54.50%	29.92%	48.54%	51.25%	18.71%
その他要注意先債権全体に 対する引当率	19.91%	20.57%	13.22%	13.44%	12.21%	20.92%	7.62%	8.03%	4.57%
正常先債権全体に対する 引当率	0.26%	0.26%	0.19%	0.30%	0.30%	0.22%	0.26%	0.26%	0.21%

注) 銀行勘定・信託勘定合算。

最終処理（危険債権以下）の進展

< UFJ銀行 + UFJ信託 >

大口先に対する抜本的対策の実施により、半期で約3兆円を削減



UFJストラテジックパートナー

当初計画を上回るペースで順調に開示債権を圧縮

(億円)	04年度実績	計画	05年上期計画
	実質業務純益	4	3
与信関連費用 ()	270	135	60
当期利益	275	150	68
開示債権圧縮	1,965	1,900	440
与信費用/開示債権圧縮	14%	6%	14%

上記計数は全関与債権ベース

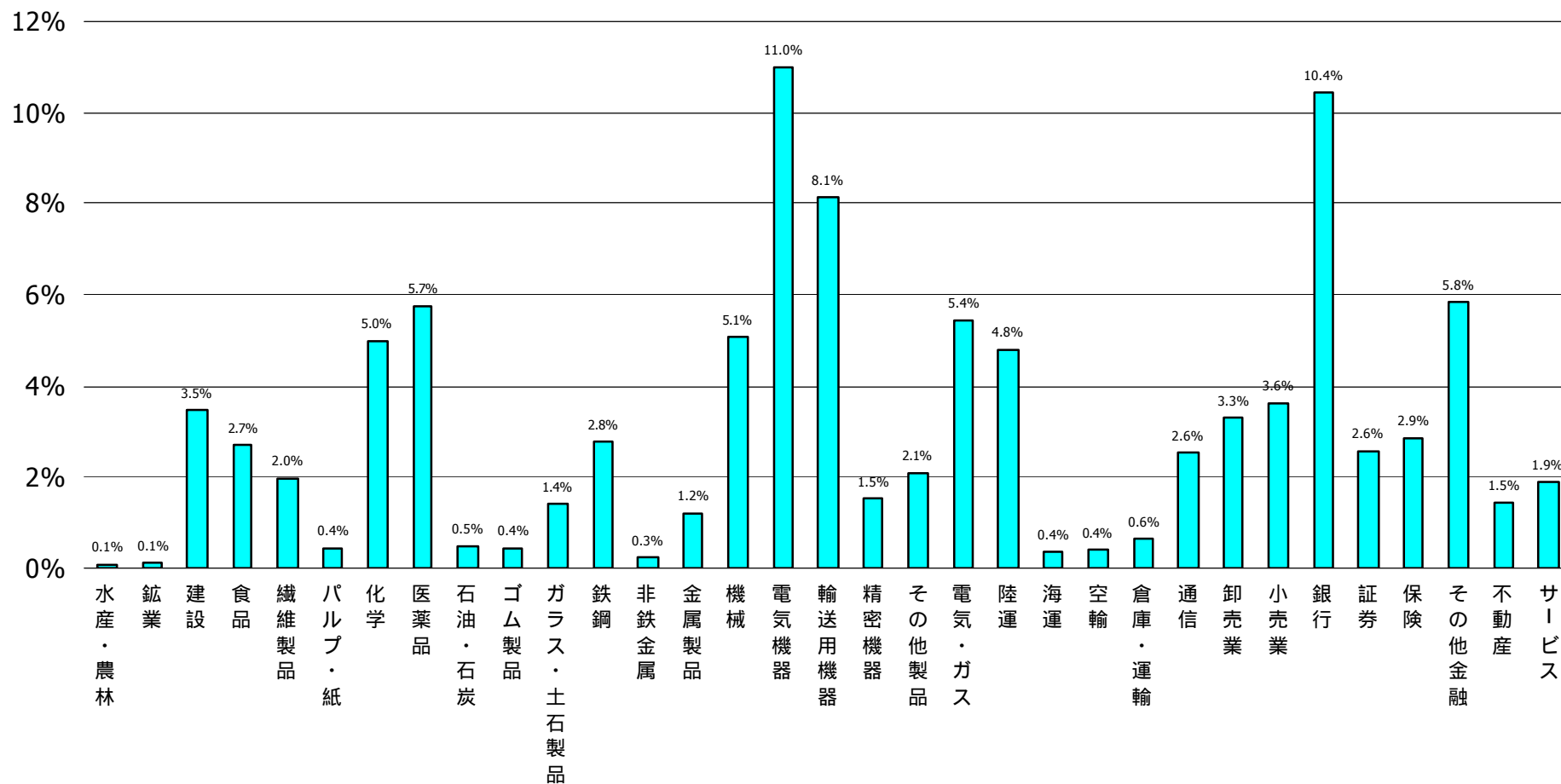
保全率・引当率 (05年3月末 UFJSP分割分のみ)

	保全率	うち引当によるもの	
		うち担保・保証によるもの	担保・保証等を除いた部分に対する引当率
破産更生等債権	100.00%	99.28%	0.72%
危険債権	82.85%	25.06%	57.80%
要管理先債権	-	-	-

(億円)	04年3月末		04年9月末		05年3月末	
	うちアドバイザー分		うちアドバイザー分		うちアドバイザー分	
破産更生等債権	736	476	465	295	185	149
危険債権	1,675	1,392	1,071	903	596	577
要管理債権	516	289	303	213	181	181
正常債権	900	796	884	773	817	657
計	3,828	2,956	2,723	2,185	1,780	1,566
部分直接償却額	4,675	1,882	4,269	1,799	3,127	1,289

上記計数は全関与債権ベース

業種別株式ポートフォリオ（05年3月末）



UFJエグゼクティブ・UFJトラステグゼクティブ

UFJエグゼクティブ・UFJトラステグゼクティブ

(UFJ銀行100%子会社)

(億円)	04年度	05年上期	
	実績	計画	計画
営業利益	86	173	11
うち 現物株売却損益	52		
オフバランス取引	172		
配当金	44		
経費(登録免許税含む)	6		
その他	4		
営業外損益(借入金利息)	7	9	0
税引前利益	93	182	11
当期純利益	97	174	11

(億円)	04年3月末	04年9月末	05年3月末	0409比増減
簿価残高	3,294	4,223	3,016	1,207
時価残高	3,685	4,714	3,552	1,162
含み損益	391	491	536	45

ヘッジ取引により含み損益が確定したのものについては確定した損益を反映

含み損益は決算月の月中平均株価にて計算

04年9月29日にUFJ銀行から1,377億円の株式を購入

現物株売却額(簿価ベース/年) 995億円

ヘッジ比率(時価ベース、05年3月) 50%

UFJトラステグゼクティブ

(UFJ信託銀行100%子会社)

(億円)	04年度	05年上期	
	実績	計画	計画
営業利益	12	0	1
うち 現物株売却損益	7		
オフバランス取引	6		
配当金	11		
経費(登録免許税含む)	1		
営業外損益(借入金利息)	2	2	1
税引前利益	10	2	2
当期純利益	10	2	2

(億円)	04年3月末	04年9月末	05年3月末	0409比増減
簿価残高	1,411	1,281	1,406	125
時価残高	1,458	1,366	1,493	127
含み損益	46	85	87	2

ヘッジ取引により含み損益が確定したのものについては確定した損益を反映

含み損益は決算月の月中平均株価にて計算

現物株売却額(簿価ベース/年) 168億円

ヘッジ比率(時価ベース、05年3月) 37%

収益力強化に向けた取組み

部門別収益状況

< UFJ銀行 + UFJ信託 >

	04年度		03年度	増減	(億円)	
		(計画)			05年上期 (半期計画)	
業務粗利益						
UFJ銀行	11,403	11,320	11,982	578	5,176	
リテール	2,920	2,916	2,885	34	1,502	
法人	5,359	5,429	5,224	135	2,665	
市場国際	1,715	1,677	1,904	189	816	
その他	1,409	1,298	1,968	559	193	
戦略支援G*	740	806	1,076	336	313	
円貨債券投資	1,086	1,122	1,494	408	250	
UFJ信託	1,587	1,610	1,641	53	729	
合計	12,991	12,930	13,623	632	5,905	

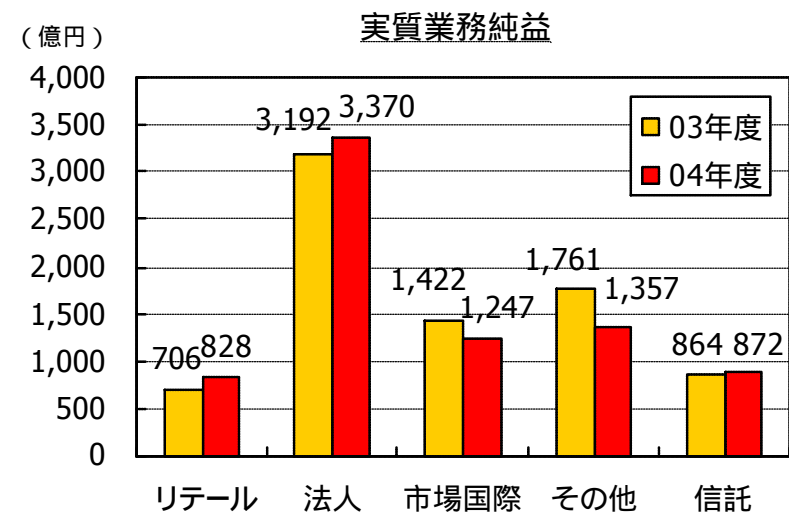
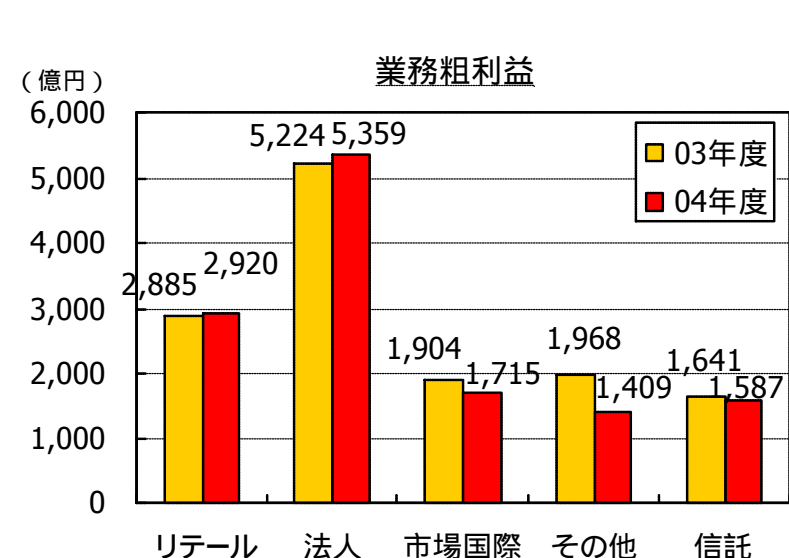
*05年度より戦略支援Gは法人カンパニーに統合。ここでは従来開示と平仄を併せる為、別々に掲載

経費	04年度	03年度	増減	05年上期 (半期計画)
子銀行合算()	5,315	5,480	361	2,755

実質業務純益						
UFJ銀行	6,802	6,600	7,081	278	2,800	
リテール	828	824	706	122	502	
法人	3,370	3,439	3,192	179	1,670	
市場国際	1,247	1,187	1,422	176	595	
その他	1,357	1,150	1,761	404	33	
UFJ信託	872	850	864	7	350	
合計	7,675	7,450	7,946	271	3,150	

< ホールディングス連結 >

経常利益	04年度	03年度	増減	05年上期 (半期計画)
	4,968	5,300	991	2,600



UFJ銀行：リテール

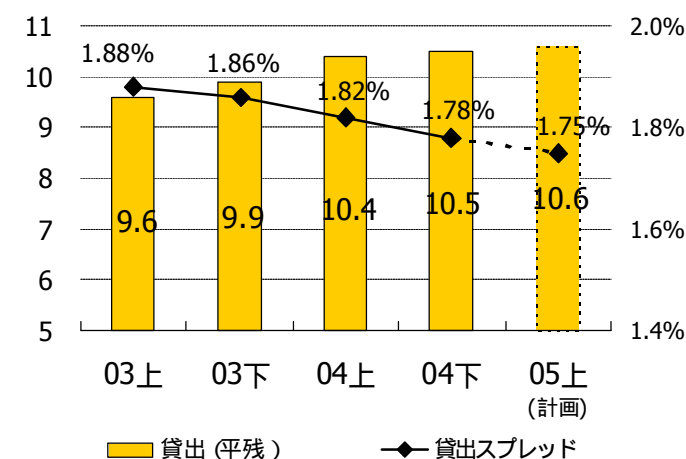
<単体>	04年度		03年度	増減	05年上期 (半期計画)
		(計画)			
業務粗利益	2,920	2,916	2,885	34	1,502
預貸金収益	2,451	2,464	2,473	22	1,219
貸出収益	1,882	1,894	1,837	45	932
預金収益	569	571	635	67	287
手数料収益	748	772	647	101	414
一般手数料	477	493	454	23	234
うちATM関連	334	339	304	30	163
外為売買益等	65	69	67	1	38
うち外貨預金	25	30	33	7	16
運用商品販売手数料等*	206	211	126	80	142
行内取引・受取配当金等	279	321	234	45	131
経費()	2,091	2,092	2,179	88	1,000
実質業務純益	828	824	706	122	502

* 投資信託・年金保険・デリバティブ外貨預金等

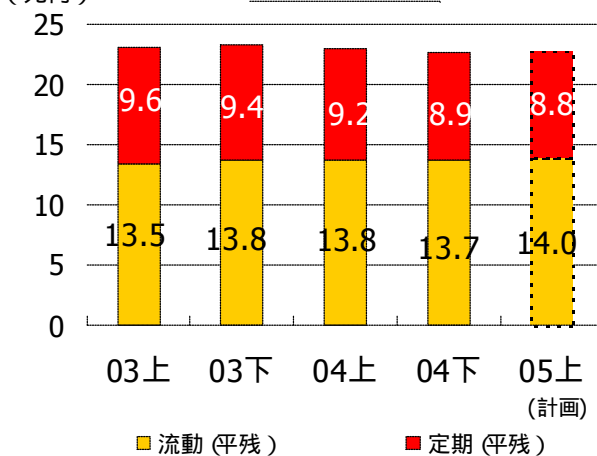
<連結>	04年度		03年度	増減	05年上期 (半期計画)
		(計画)			
業務粗利益	4,113	4,129	3,990	123	2,121
経費()	3,018	3,030	3,079	61	1,477
実質業務純益	1,095	1,099	911	184	644

(億円)

(兆円) リテール貸出金



(兆円) リテール預金



UFJ銀行：リテール貸出収益

住宅ローン残高増加を主因に、貸出収益は前年度比+45億円

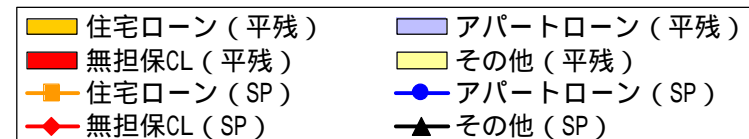
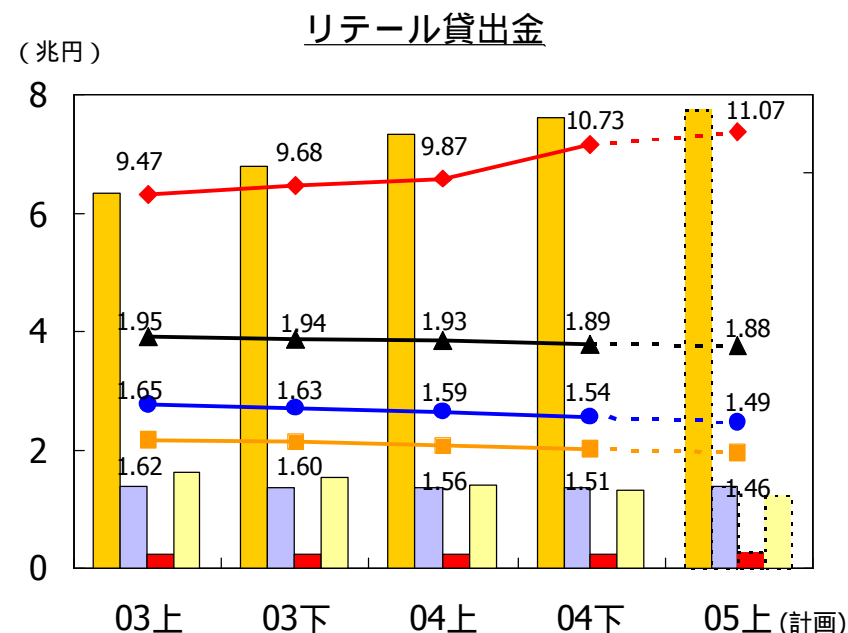
	04年度		03年度	増減	(億円)	
		(計画)			05年上期 (半期計画)	
貸出収益計	1,882	1,894	1,837	45	932	
住宅ローン	1,145	1,144	1,060	86	566	
消費性ローン	263	269	244	19	146	
アパートローン	211	213	225	14	103	
一般貸	106	106	126	20	48	
その他	157	160	183	25	69	
貸出平残(兆円)	10.5	10.5	9.8	0.7	10.6	
貸出SP(%)	1.80	1.80	1.87	0.07	1.75	

04年度 貸出業務実績

- 住宅ローンを中心に順調に残高を積上げ
- アパートローン取り組み額1,978億円(前年度比+651億円)
- 貸出SPは住宅ローンの金利競争激化を主因に減少
(無担保カードローンは金利引き上げを実施(04/11月))

05年度上期 主要施策等

- 業者ルート・企業提携・店頭営業の強化等により住宅ローン残高積上げ
- 総合提案の強化によりアパートローン取り組みを強化
- リスク・取引振りに応じた消費性ローン残高積上げ施策推進
- テレビ窓口、インターネットバンキングの利便性向上により、カードローン新規申込み増加を目指す

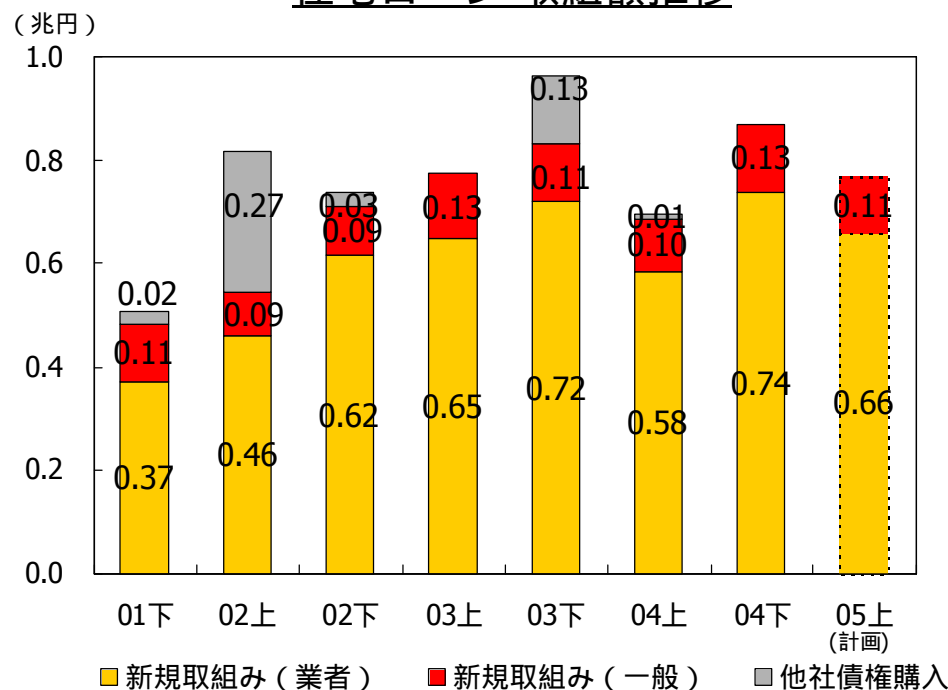


UFJ銀行：リテール貸出収益（住宅ローン）

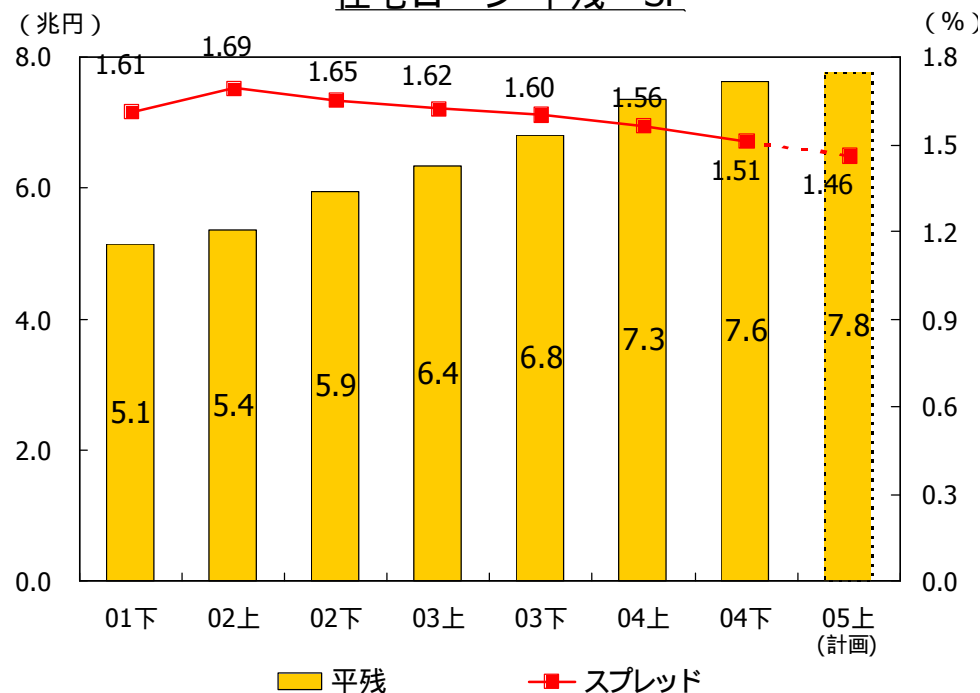
04年度住宅ローン新規取組額1.56兆円

- 金利競争激化によりSPは低下するも、残高の順調な伸びにより住宅ローン収益は前年度比+86億円
04年度通期 住宅ローン平残7.5兆円（前年度比+8,937億円）、スプレッド1.53%（前年比 8bp）
（04年下期住宅ローン債権流動化3,400億円実施後）
- 住宅販売業者ルート強化に加え、一般ルートにおける相談受付チャネル等を充実
業者ルート： 地方展開強化、金利の弾力的運用
一般ルート： 提携先企業開拓、住宅ローン相談会の夜間・休日実施を強化

住宅ローン 取組額推移



住宅ローン 平残・SP



UFJ銀行：リテール手数料収益(1)

個人年金保険販売を中心に手数料収益増加

	04年度		03年度	増減	05年上期 (半期計画)
		(計画)			
手数料収益	748	772	647	101	414
一般手数料	477	493	454	23	234
うちATM関連	334	339	304	30	163
外為売買益等	65	69	67	1	38
うち外貨預金	25	30	33	7	16
運用商品販売手数料等*	206	211	126	80	142

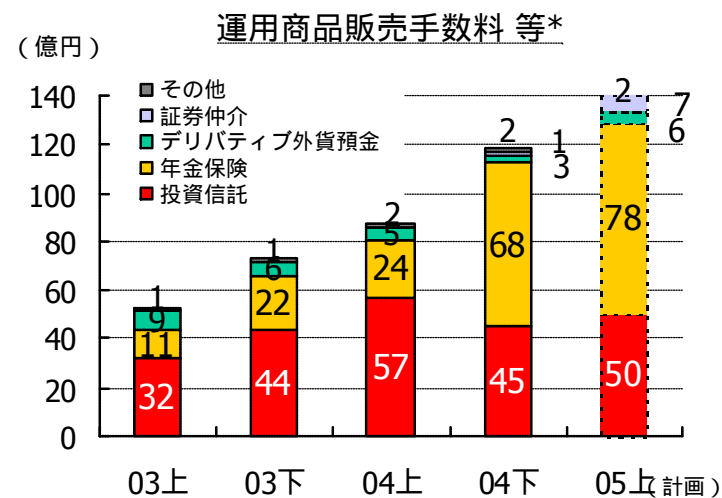
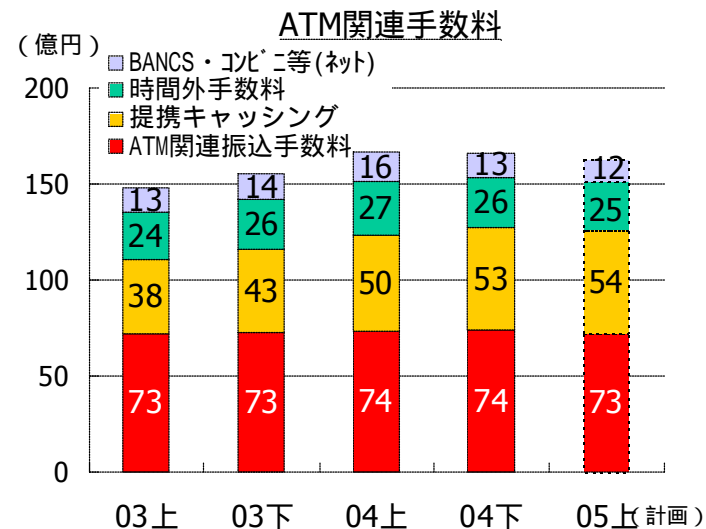
* 投資信託・年金保険・デリバティブ外貨預金等

04年度 手数料収益業務実績

- 年金保険販売手数料が飛躍的に増加
- 一般手数料も前年度比順調に増加

05年度上期 主要施策

- 運用商品販売の増強により手数料収益の更なる増加を目指す
 - 営業インフラの高度化によりマーケティング力を強化
 - 富裕層、法人オーナー先に対する運用商品販売を推進
 - 営業スタッフ増強・休日営業拡大により営業力を強化

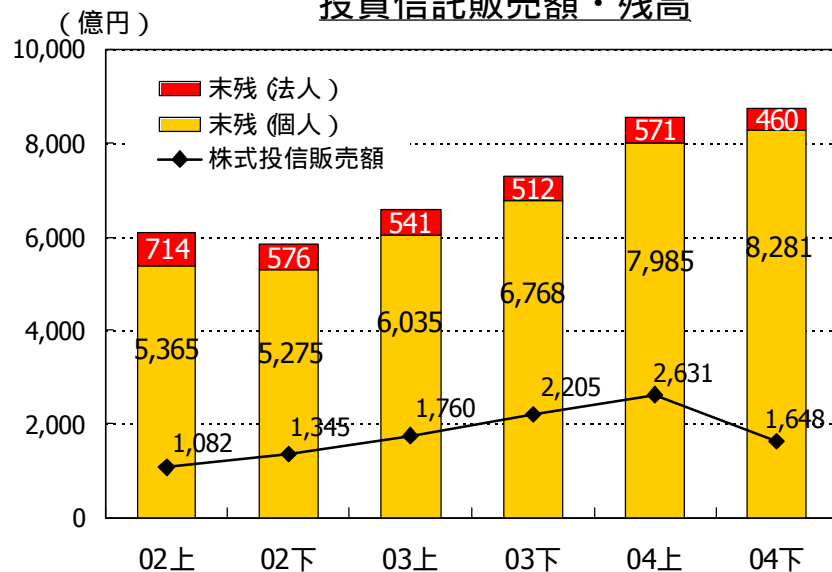


UFJ銀行：リテール手数料収益 (2)

運用商品の販売が着実に増加 ～商品ラインナップ増強・営業体制強化

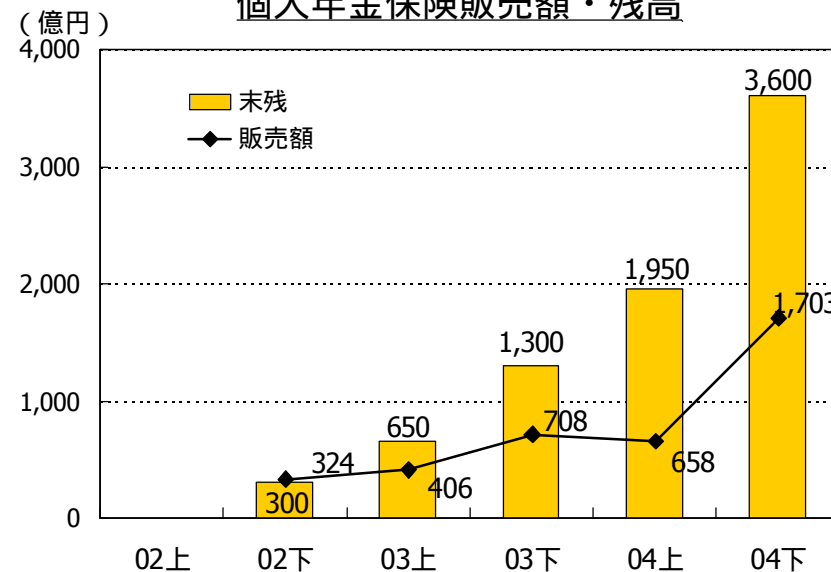
- 商品ラインナップの増強 : 運用商品数 98、04/3末比 +14 (うち年金保険 +5、投信 +5、外貨預金 +4)
- FP等のセールス戦力強化 : FP等の販売担当者増員 (04年度約160人増加)・研修による人員育成により販売力が向上
顧客情報と営業活動データをリンクさせた「スーパーCRM」の活用を04年度下期よりスタート
- 富裕層顧客への販売強化 : 預かり資産10百万円超の富裕層顧客数の増加、および運用商品購入比率の上昇を目指す
- 法人オーナー取引の促進 : 法人取引約200拠点を通じ、FPによる運用商品セールス強化

投資信託販売額・残高



<ご参考> (UFJ銀行 + UFJ信託) 株式投信販売額(04年度) : 5,578億円
投信残高(04年度末) : 1兆1,931億円

個人年金保険販売額・残高



<ご参考> (UFJ銀行 + UFJ信託) 個人年金保険販売額(04年度) : 3,117億円
個人年金保険残高(04年度末) : 5,338億円

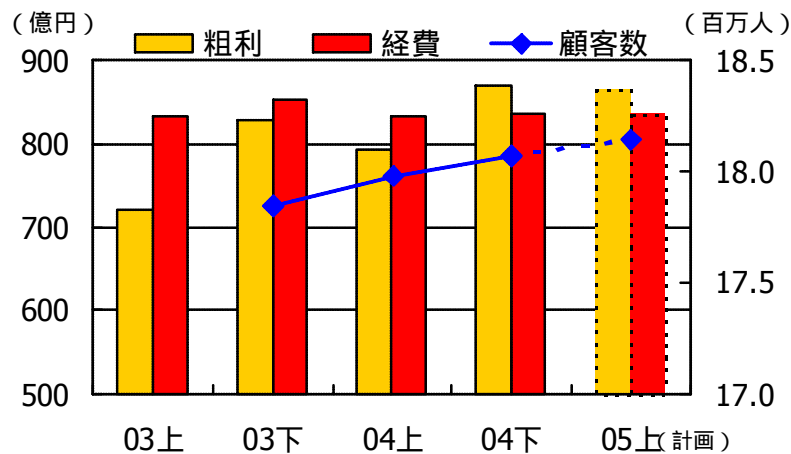
UFJ銀行：リテール「マス個人層」の収益化

粗利益増加に向けた取り組みによりマス個人層の業務純益は黒字化

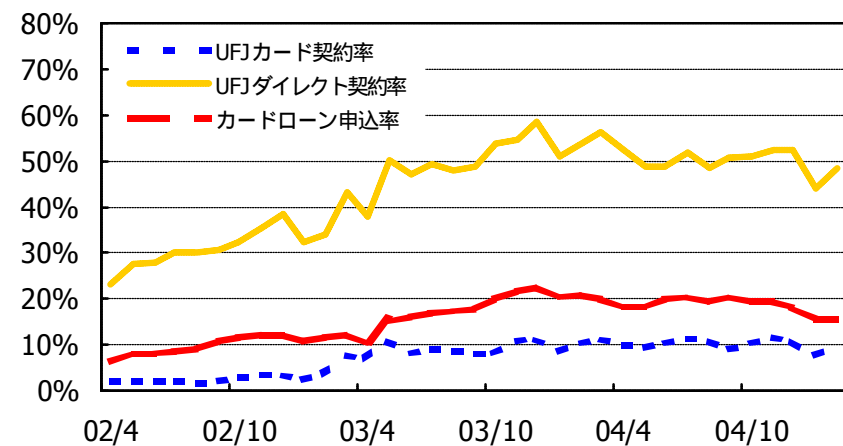
～ チャンネル利便性向上による顧客数増加、クロスセルによる顧客当たり収益の向上



リテールマス個人層の収益推移(連結ベース)



新規口座開設時の付着商品契約率

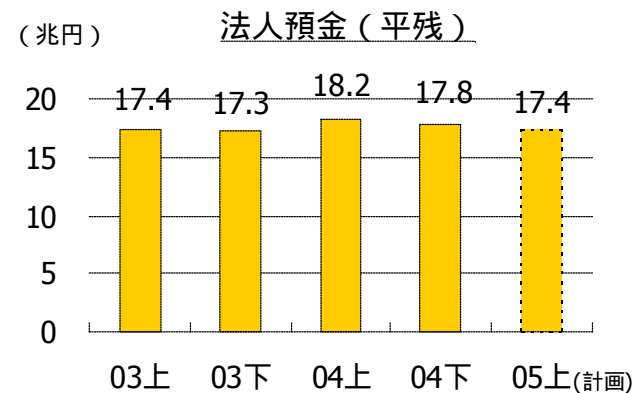
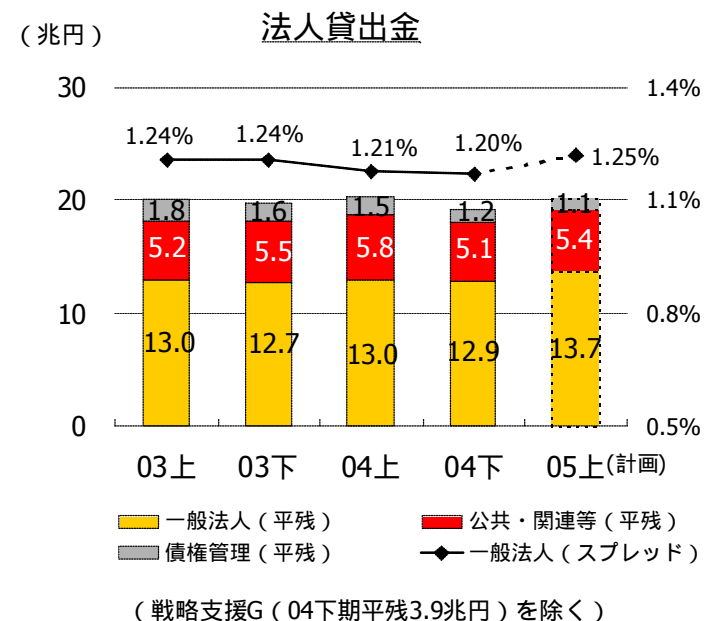


UFJ銀行：法人

< 単体 >	04年度		03年度	増減	(億円)	
		(計画)			05年上期 (半期計画)	
業務粗利益	5,359	5,429	5,224	135	2,665	
預貸金収益	2,788	2,864	2,856	69	1,413	
貸出収益	2,273	2,362	2,406	133	1,175	
預金収益	514	502	450	64	238	
手数料収益	2,542	2,540	2,357	185	1,253	
国内手数料	944	947	855	90	501	
外為	287	286	281	6	149	
投資銀行業務	731	761	704	26	333	
デリバティブズ	525	497	474	51	245	
行内取引等	29	25	10	18	1	
経費()	1,988	1,990	2,032	44	995	
実質業務純益	3,370	3,439	3,192	179	1,670	

(注) 戦略支援Gを除く

< 連結 >	04年度		03年度	増減	(億円)	
		(計画)			05年上期 (半期計画)	
業務粗利益	5,572	5,638	5,366	205	2,776	
経費()	2,109	2,111	2,125	16	1,059	
実質業務純益	3,462	3,527	3,241	222	1,717	



UFJ銀行：法人貸出収益(1)

貸出環境は依然厳しく、貸出残高・スプレッドとも弱含み推移

<法人カンパニー>

	04年度		03年度	増減	(億円)	
		(計画)			05年上期 (半期計画)	
貸出収益計	2,273	2,362	2,406	133	1,175	
大企業(A)	558	584	609	52	286	
中堅・中小企業(B)	991	1,092	988	3	567	
公共・関連他	473	482	486	13	218	
債権管理	252	205	323	72	105	
貸出平残(兆円)	19.7	20.2	19.9	0.2	20.2	
貸出SP(%)	1.16	1.17	1.20	0.05	1.17	
一般事業法人(A)+(B)	1.20	1.25	1.24	0.04	1.25	

<戦略支援グループ* > (UFJSPを除く)

貸出収益	592	-	807	215
貸出平残(兆円)	4.5	-	5.8	1.3
貸出SP(%)	1.32	-	1.39	0.07

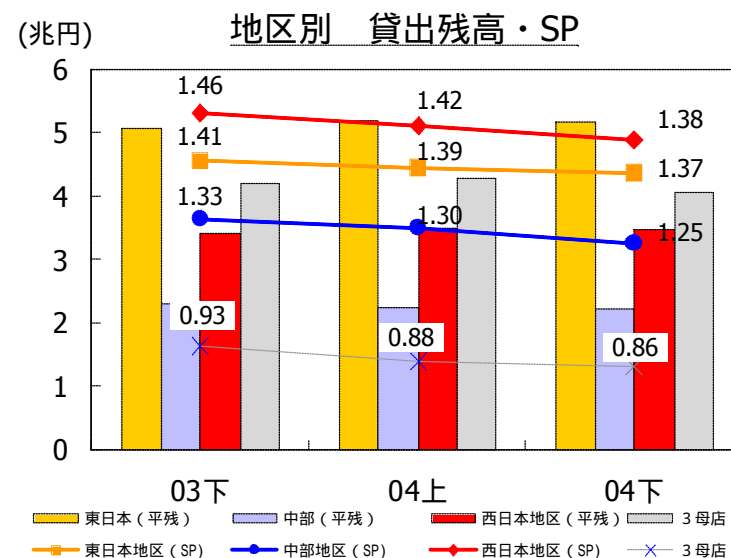
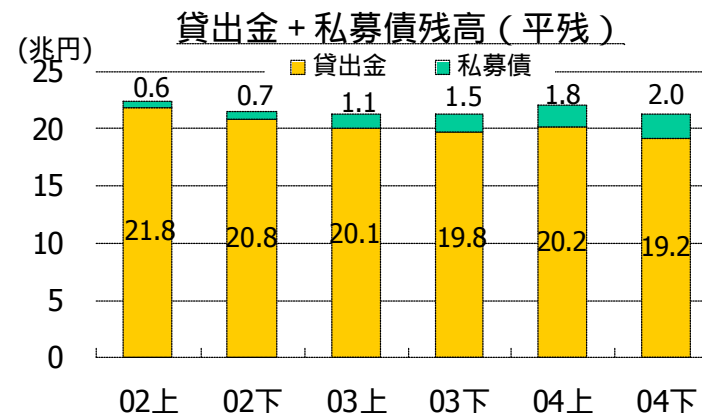
*05年度より戦略支援Gは法人カンパニーに統合。ここでは従来開示と平仄を併せる為、別々に掲載

04年度 貸出業務実績

- 中堅・中小企業向け貸出平残は増加傾向に転換、大企業・公共向け貸出が減少（私募債による企業への資金供給は増加）

05年度上期 主要施策

- 中小企業向け貸出増強に向けたスコアリングモデル与信の拡大
事業金融・コベナンツ付貸出などの推進



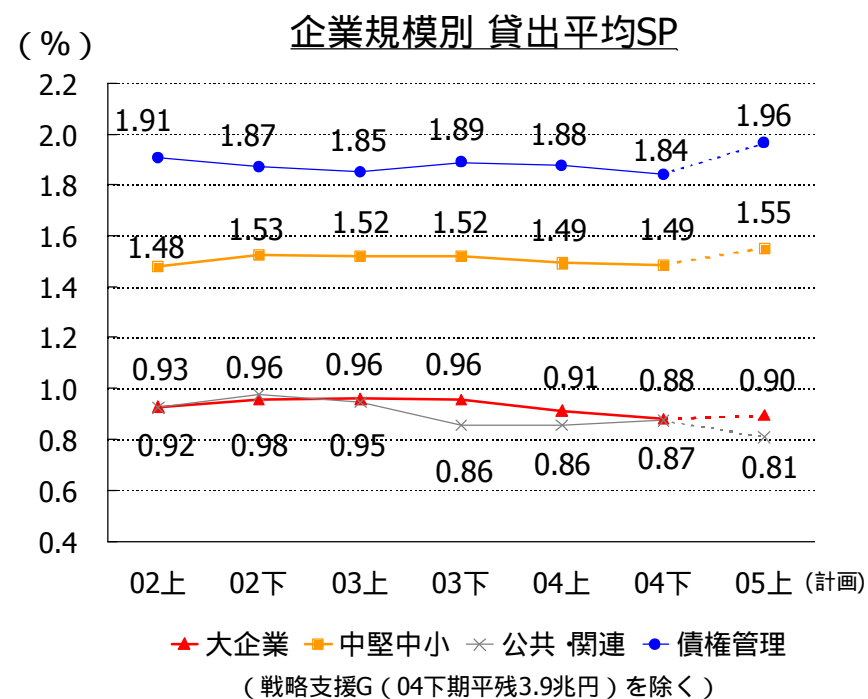
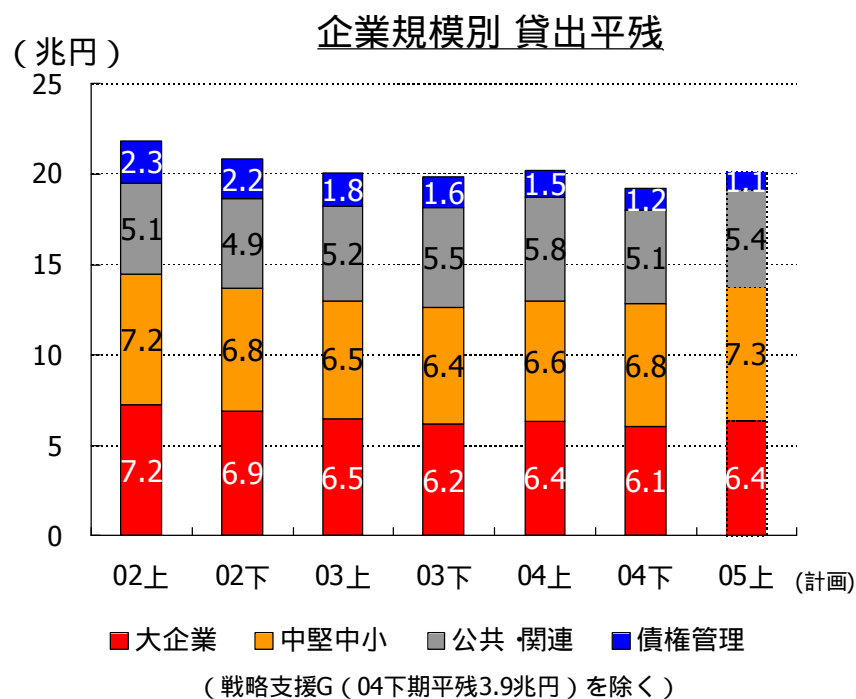
(本部・公務部勘定等(04下期平残4.3兆円)を除く)
(戦略支援G(04下期平残3.9兆円)を除く)

(注)東京・名古屋・大阪法人営業部は地域性が薄いため、
地区別データから除外し、「3母店」として合算しています。

UFJ銀行：法人貸出収益(2)

中堅・中小企業向けを中心に、貸出増加施策を推進

- 貸出ボリューム：中小企業向貸出増強に向け営業体制強化、新商品投入
 - ビジネスローン実績(04年度)：実行額 6,110億円 (前年度比 +4,443億円)
 - 中小企業“熱烈支援”キャンペーン促進による固定金利ファンドの実行5,000億円 等
- 貸出スプレッド：大企業を中心に弱含みに推移
 - 資金需要は依然低迷しており、引き続き厳しい環境
 - 高SP貸出(ビジネスローン、事業金融等)の積み上げにより、平均SPの改善を図る



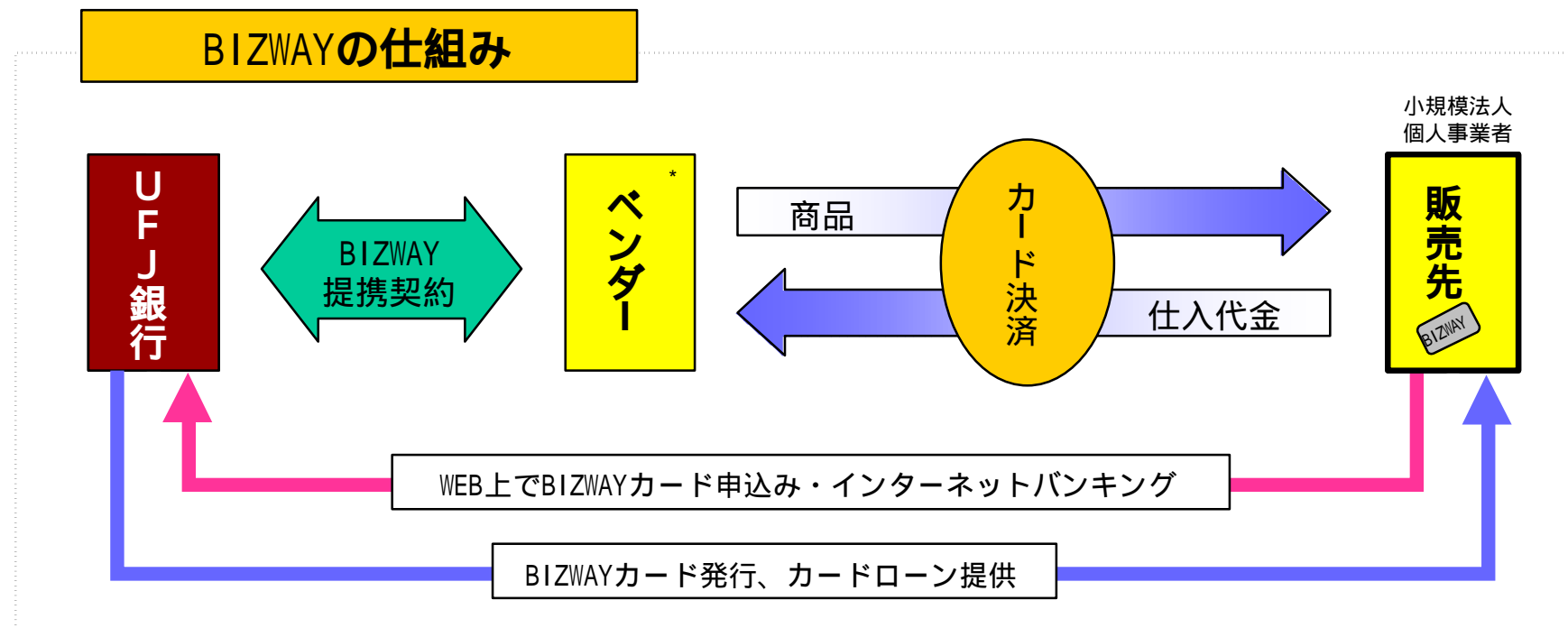
UFJ銀行：法人貸出収益(3)

ベンダーファイナンスを糸口とし、小規模法人・個人事業者顧客基盤を拡大

～ 新型ビジネスカード「BIZWAY」導入（05年5月）

08年度までに対象顧客における収益資産残高2,600億円を目指す（UFJ単独ベース）

- カードローン・クレジットカード合算で最大500万円までの商流決済与信に対応（無担保、第三者保証不要、決算書不要）
- インターネットバンキング・クレジットカード機能の活用により事務・経理処理を簡素化



* 小口販売先を多く抱える大・中堅企業。BIZWAY提携により 売掛債権の早期資金化、 貸倒リスク回避・与信管理効率化、 決済・請求事務の効率化が可能。

UFJ銀行：法人手数料収益(1)

決済・投資銀行・デリバティブズ関連の手数料収入は高水準で推移

～大企業取引で培ったノウハウを活用し、小口化・定型化により法人ミドルマーケットを開拓～

	04年度		03年度	増減	05年上期 (半期計画)
		(計画)			
手数料収益	2,542	2,540	2,357	185	1,253
国内手数料	944	947	855	90	501
外為*	287	286	281	6	149
投資銀行業務	731	761	704	26	333
デリバティブズ**	525	497	474	51	245

04年度 手数料収益業務実績

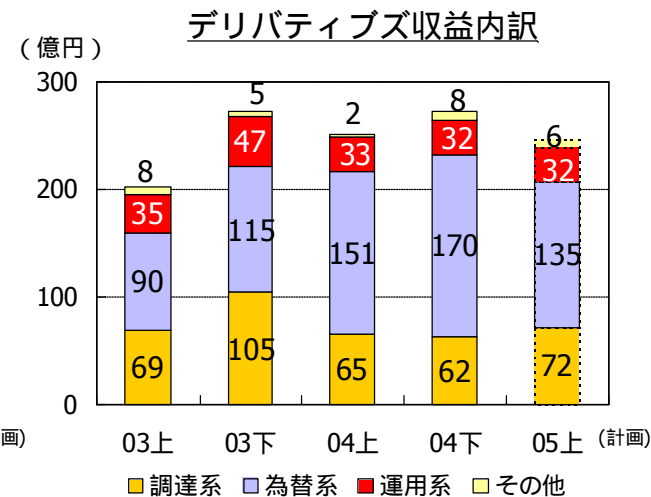
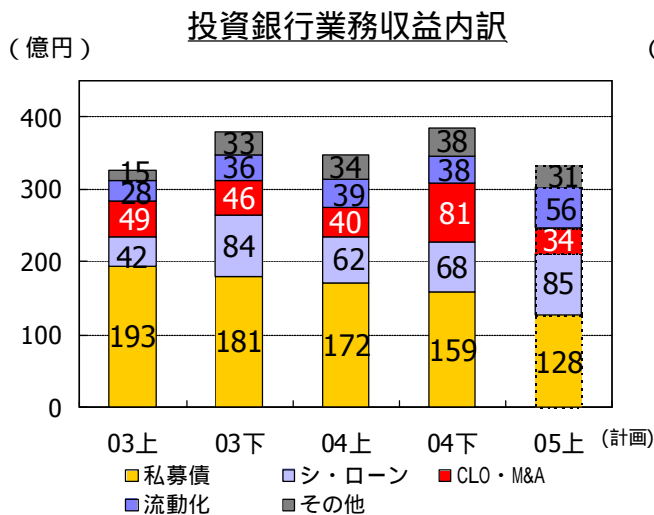
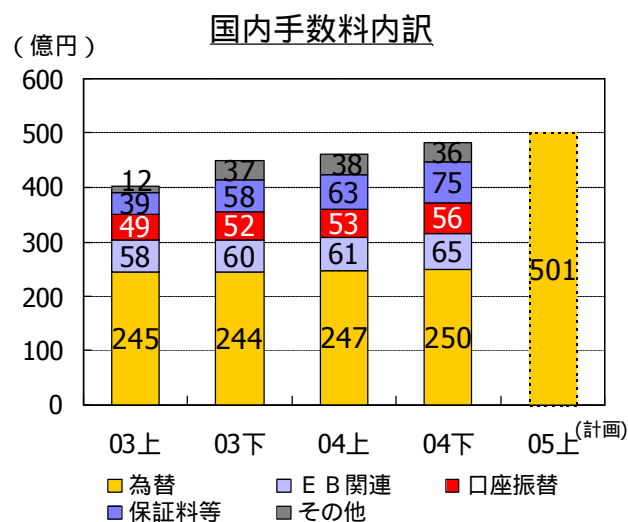
- ミドル向け定型化商品が定着し高水準を維持

05年度上期 主要施策等

- 貸出と一体化した決済業務を推進
- 非主力先への営業強化

* 法人外為収益全体の約87%（04年度）、約84%（03年度）に相当（取引形態に応じて市場国際カンパニーと収益按分）

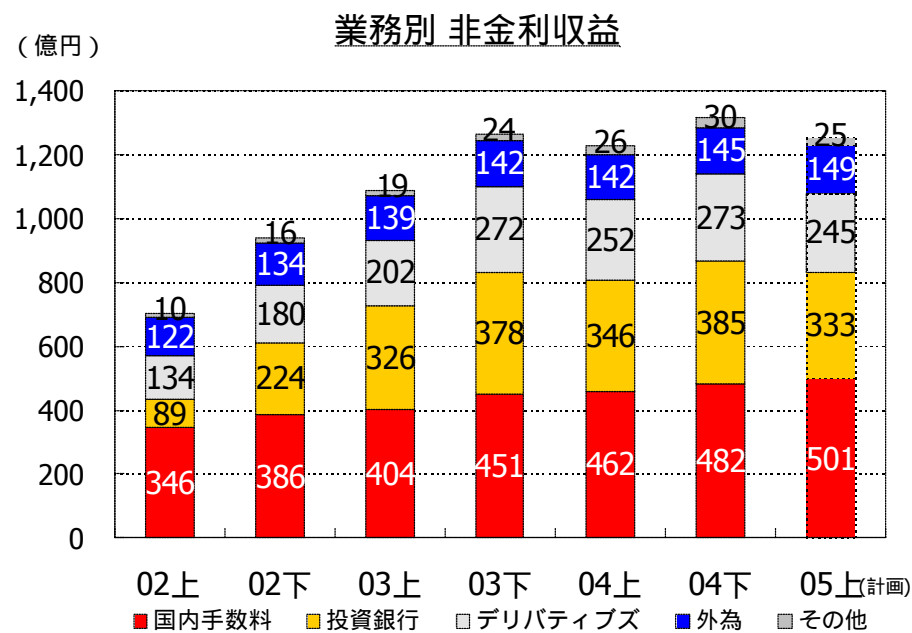
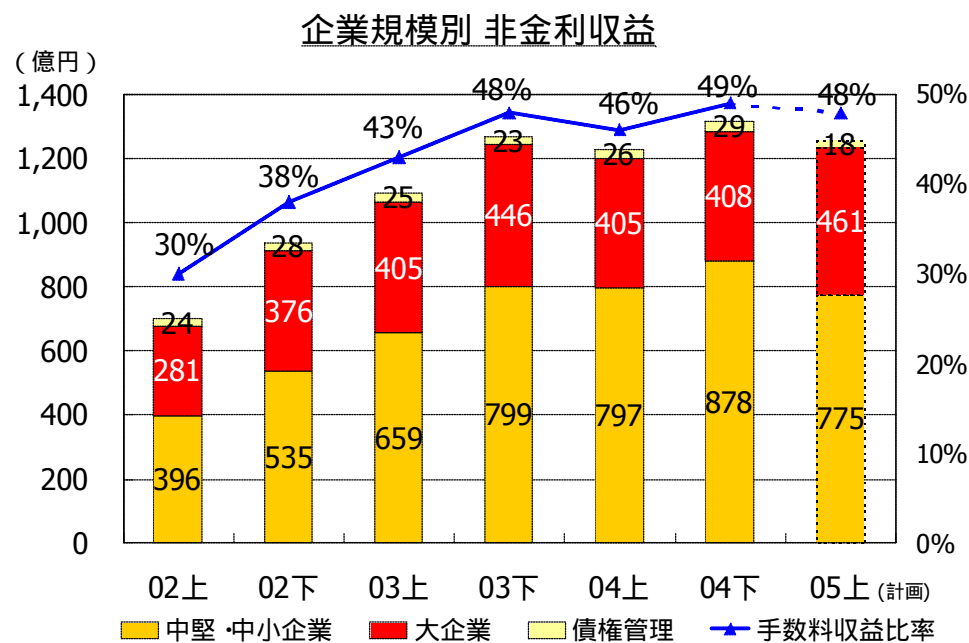
** 国内法人デリバティブ収益全体の60%に相当（40%は市場国際カンパニーにて計上）



UFJ銀行：法人手数料収益 (2)

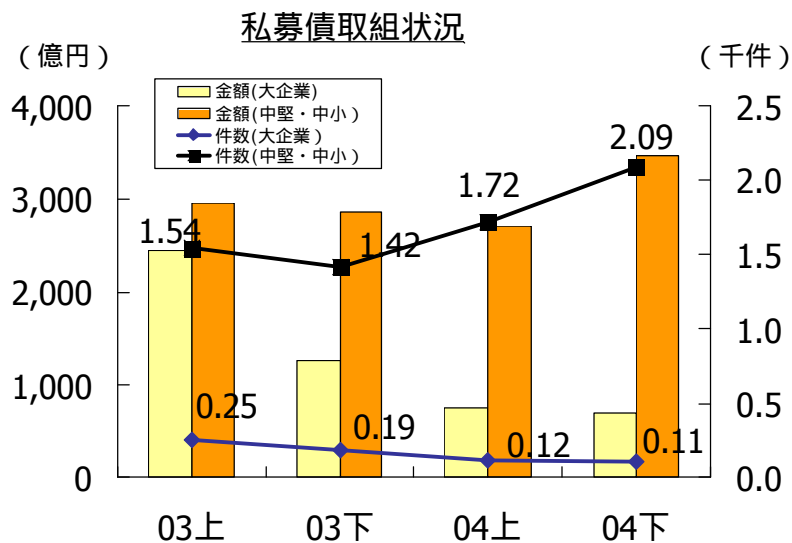
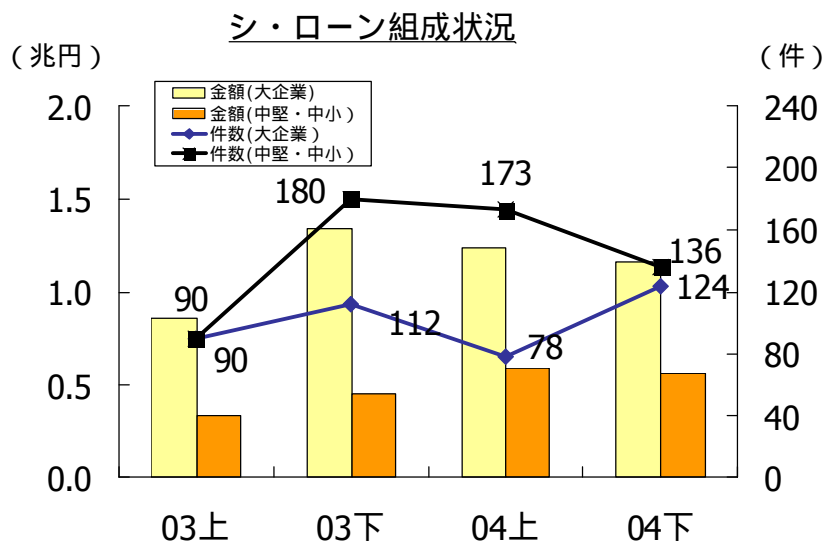
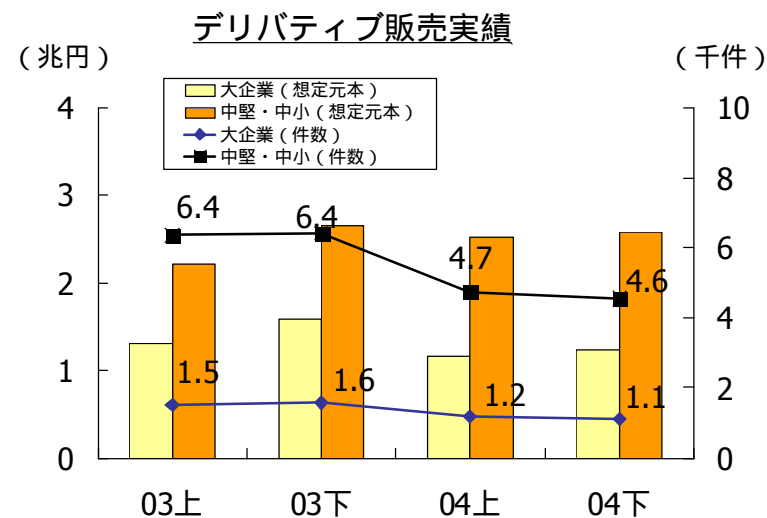
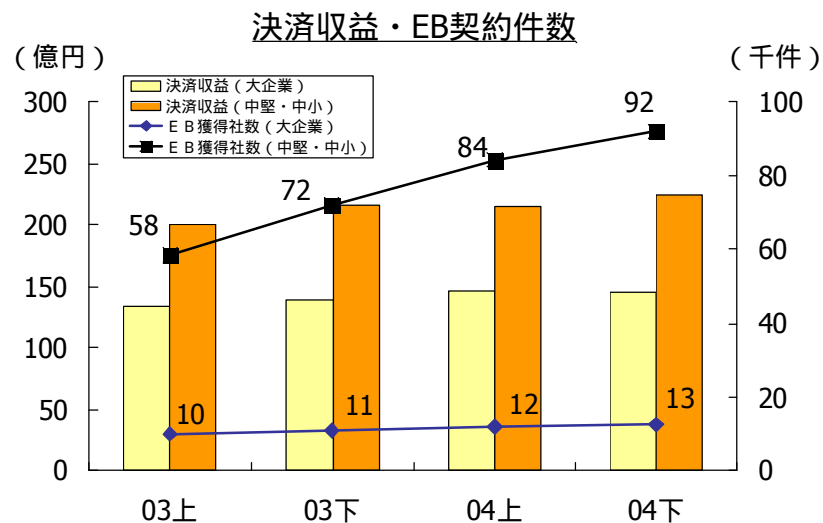
中堅・中小企業向け取引の拡大により、高い収益水準を維持

- 粗利益実績：2,542億円（前年度比 +185億円）
 - 新商品開発・既存商品小口化推進により、中小企業向け販売が拡大
 - 中堅・中小企業からの手数料収益は全体の約65%を占める
 - 貸出業務と決済業務の一体化商品の開発、販売を推進
 - 売掛金活用貸出(新規獲得153社)、Web手形決済(新規獲得50社)等
 - デリバティブズ収益も相場変動を背景に為替系商品を中心に堅調



UFJ銀行：法人手数料収益(3)

小口化・定型化による中堅・中小企業への販売を強化

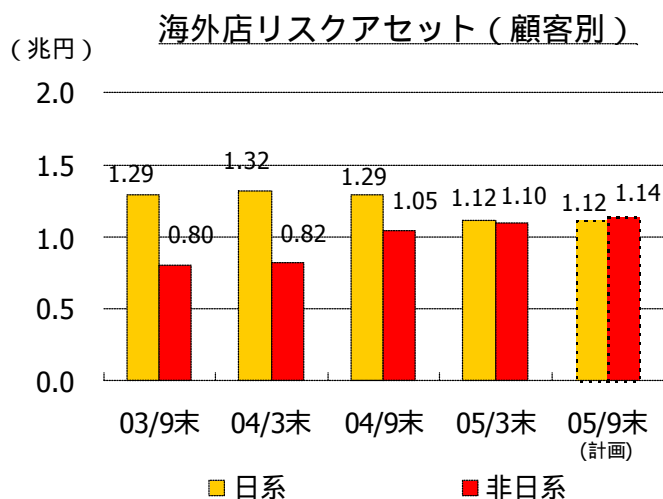
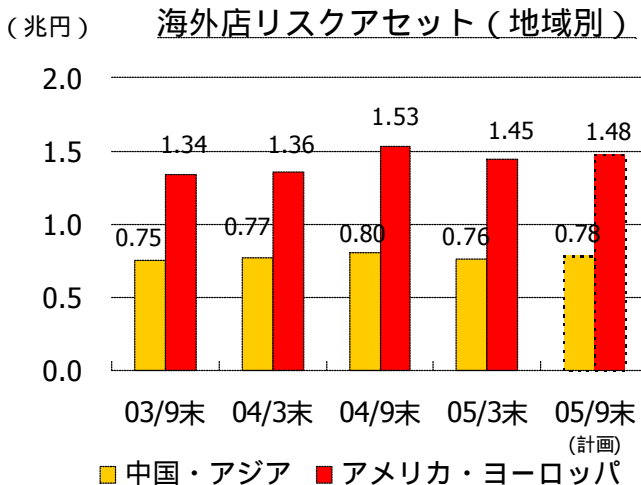


UFJ銀行：市場国際

< 単体 >	04年度		03年度	増減
		(計画)		
業務粗利益	1,715	1,677	1,904	189
海外商業銀行	515	525	540	24
海外支店	353	335	360	7
日系	205	203	201	4
非日系	148	132	159	11
ストラクチャードファイナンス	110	142	94	16
その他	52	48	85	33
市場関連	1,200	1,152	1,365	163
トレーディング	485	540	572	87
フロートレーディング	414	380	395	19
自己トレーディング	71	160	177	106
バンキング	350	290	465	115
デリバ・為替売買益(対顧客)	403	367	381	22
手数料・税金等	38	46	54	17
経費()	469	489	482	13
実質業務純益	1,247	1,187	1,422	176

< 連結 >	04年度	(計画)	03年度	増減
業務粗利益	1,842	1,899	2,000	159
経費()	611	643	628	17
実質業務純益	1,231	1,256	1,372	142

(億円)	05年上期 (半期計画)
業務粗利益	816
海外商業銀行	267
海外支店	154
日系	95
非日系	60
ストラクチャードファイナンス	86
その他	27
市場関連	548
トレーディング	255
フロートレーディング	195
自己トレーディング	60
バンキング	135
デリバ・為替売買益(対顧客)	191
手数料・税金等	33
経費()	221
実質業務純益	595



*為替換算レートを110円から105円に変更したため、05/3期計画は前回公表値と相違しています。

UFJ銀行：海外商業銀行

商流捕捉型ビジネスと貿易金融業務を強化

	04年度		03年度	増減	05年上期 (半期計画)
		(計画)			
海外商業銀行	515	525	540	24	267
日系	205	203	201	4	95
非日系	148	132	159	11	60
ストラクチャード・ファイナンス	110	142	94	16	86
その他	52	48	85	33	27

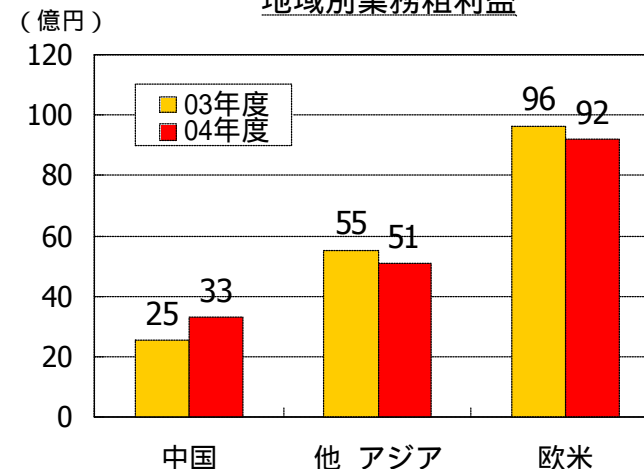
04年度 海外商業銀行収益実績

- 日系取引
 - 貸出資産の伸び悩みに加え、スプレッド低下もあり、資金収益は減少
 - 非融資関連収益の増強を図り、為替売買益・預金収益中心に順調に増加
- 非日系取引
 - スプレッド低下を主因として、前年比減益も計画は達成
- ストラクチャード・ファイナンス
 - 国内税制改正・油価高騰等の外部環境要因を受け、下期収益落ち込み

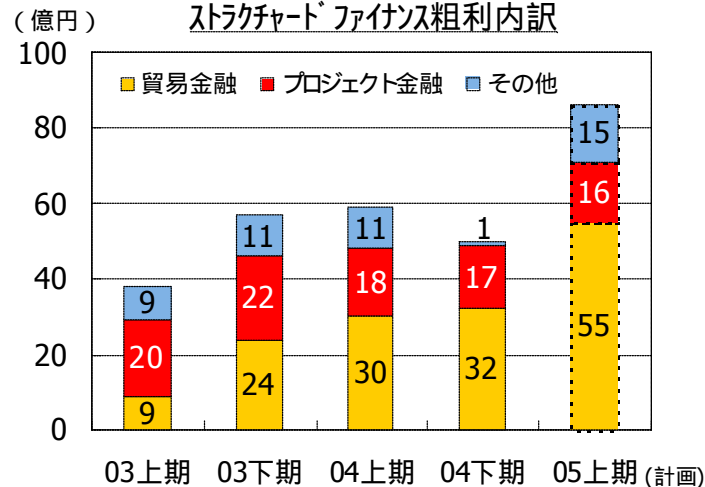
05年度上期 主要施策

- アジア・中国中心に、自動車産業を中心とした商流捕捉を強化
 - 商流に着目した商品・機能提供（日系貿易金融の本格展開）
- 現地行員の育成・営業力強化
- 貿易金融への資源集中・内部管理体制の完遂による業容拡大

地域別業務粗利益



ストラクチャード・ファイナンス粗利内訳



UFJ銀行：海外商業銀行（国別貸出）

(1) アジア諸国向け貸出金		(末残、百万円)		
	05/3末	04/9末	増減	04/3末
中国	155,642	159,360	3,717	134,308
うちリスク管理債権	584	638	54	982
香港	175,365	194,077	18,712	174,958
うちリスク管理債権	0	2,654	2,654	10,547
インドネシア	18,983	30,788	11,805	39,586
うちリスク管理債権	1,141	12,105	10,965	13,341
韓国	26,398	24,828	1,571	27,419
うちリスク管理債権	0	0	0	0
マレーシア	42,474	33,351	9,123	21,871
うちリスク管理債権	0	0	0	0
シンガポール	49,396	60,553	11,157	49,322
うちリスク管理債権	0	0	0	0
タイ	35,829	45,836	10,007	46,947
うちリスク管理債権	0	1,813	1,813	1,761
アジア諸国向け合計	556,930	620,852	63,922	558,424
うちリスク管理債権	2,300	19,551	17,251	26,631
(2) 中南米諸国向け貸出金				
ブラジル	21,153	30,045	8,892	22,644
うちリスク管理債権	0	0	0	0
メキシコ	15,748	7,197	8,551	8,929
うちリスク管理債権	0	0	0	0
中南米諸国向け合計	44,067	49,680	5,613	40,589
うちリスク管理債権	24	2,468	2,443	25
(3) その他地域向け貸出金				
北米諸国向け合計	428,938	453,648	24,710	412,360
うちリスク管理債権	876	12,950	12,074	15,059
ロシア	22,269	21,848	422	24,860
うちリスク管理債権	0	0	0	0
欧州向け合計	278,706	267,717	10,989	296,266
うちリスク管理債権	902	1,549	647	1,495
その他向け合計	80,360	81,415	1,056	84,521
うちリスク管理債権	0	0	0	0
合計	1,389,001	1,473,313	84,312	1,392,160
うちリスク管理債権	4,102	36,518	32,416	43,210

UFJ銀行：市場関連・バンキング（外貨・円貨）

フロービジネス推進と機動的なポートフォリオ運営を実施

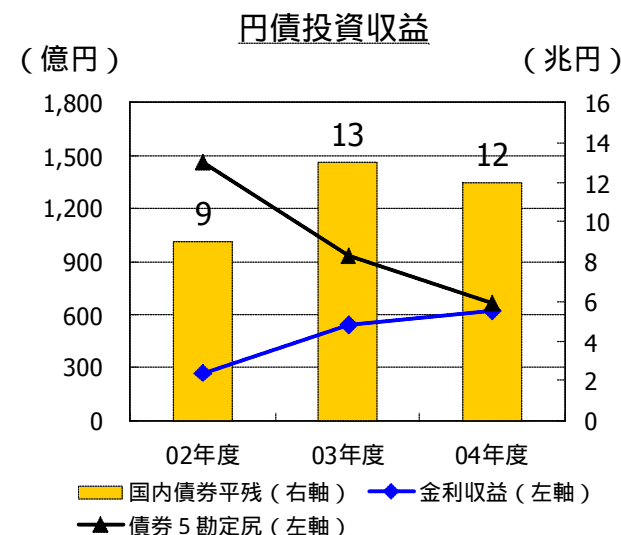
市場国際：市場部門

(億円)

	04年度		03年度	増減	05年上期 (半期計画)
		(計画)			
市場関連	1,200	1,152	1,365	163	548
トレーディング	485	540	572	87	255
フロートレーディング*	414	380	395	19	195
自己トレーディング	71	160	177	106	60
外貨バンキング	350	290	465	115	135
デリバ・為替売買益(対顧客)**	403	367	381	22	191
手数料・税金等	38	46	54	17	33

* 顧客ポジションを活用した自己収益目的のトレーディング

** 国内デリバ収益の4割に相当(6割は法人カンパニー、リテールカンパニーにて計上)、為替売買益は取引形態に応じて按分



円債投資

	04年度	(計画)	03年度	増減	05年上期 (半期計画)
債券投資収益	1,086	1,122	1,494	408	250
債券5 勘定戻	664	612	934	270	152

04年度 市場関連収益実績

- トレーディング ~ 自己トレーディングは不振も、フロートレーディング収益は順調に積上げ
- 外貨バンキング ~ 金利上昇局面を見据えたオルタナティブ投資が奏効、当初計画を超過達成

04年度 円債投資収益実績

- 機動的な運営により、売買益を確保しつつ資金収益を積上げ

05年度上期 主要施策

- 営業・開発一体でのフロービジネス推進と、安定的なバンキング収益確保に向けた取り組み強化

UFJ信託銀行

< 単体+UFJTE >

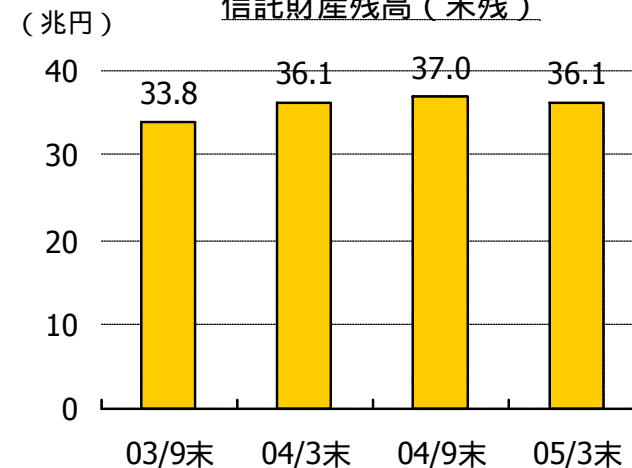
(億円)

	04年度		03年度	増減	05年上期 (半期計画)
		(計画)			
業務粗利益	1,587	1,610	1,641	53	729
財務管理業務	896	979	813	83	474
証券代行	330	349	293	37	181
不動産	189	164	121	68	82
資産流動化	49	83	54	6	28
年金・証券業務	211	260	241	29	106
個人財務管理	117	122	104	13	77
リテール	177	171	194	17	75
法人	293	291	381	88	118
その他	222	170	253	32	63
経費()	715	760	776	62	383
実質業務純益	872	850	864	7	350

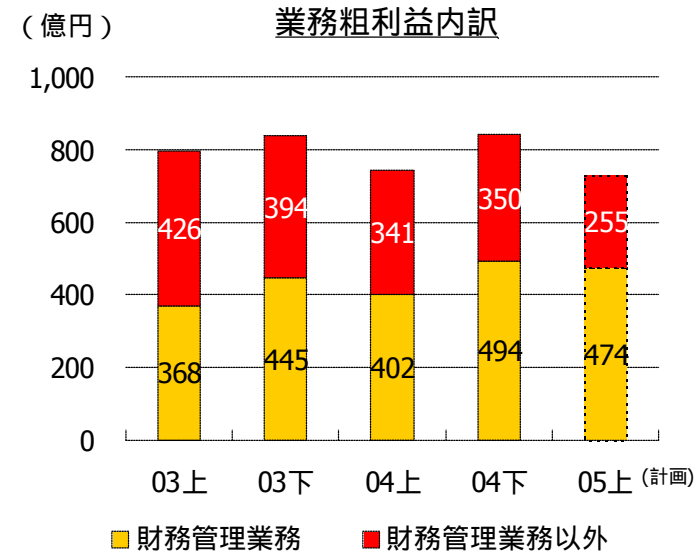
< 連結 >

業務粗利益	1,623	1,655	1,689	65	747
経費	749	782	810	61	399
実質業務純益	874	873	879	5	348

信託財産残高(末残)



業務粗利益内訳



UFJ信託銀行：財務管理業務 (1)

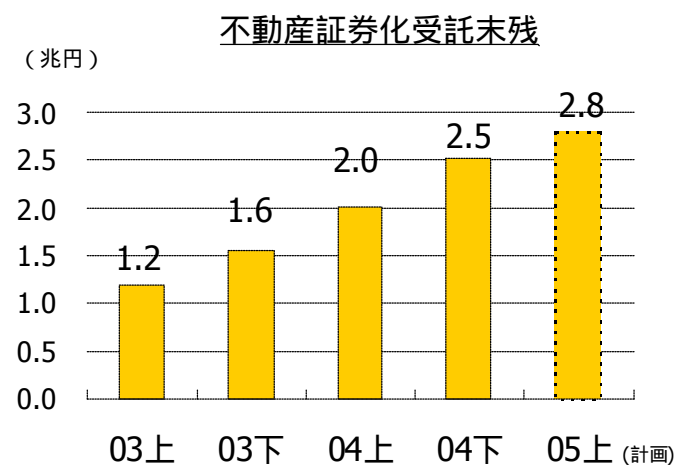
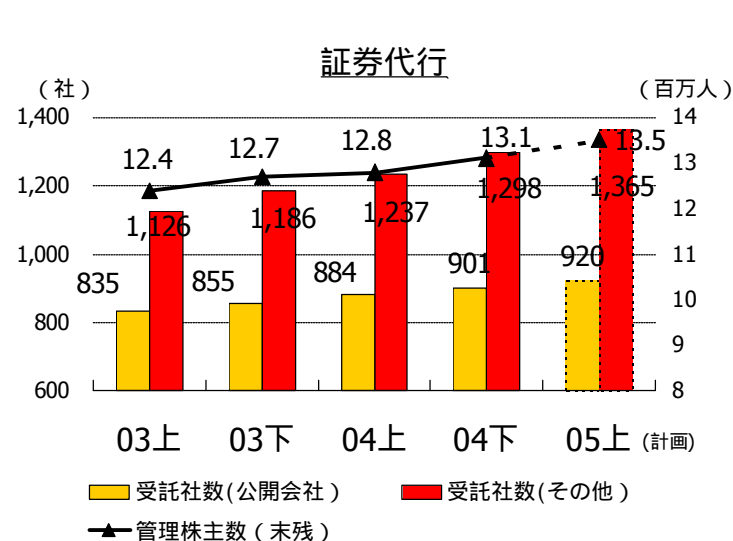
	04年度		03年度	増減	(億円)	
		(計画)			05年上期 (半期計画)	
財務管理業務	896	979	813	83	474	
証券代行	330	349	293	37	181	
不動産	189	164	121	68	82	
資産流動化	49	83	54	6	28	
年金・証券業務	211	260	241	29	106	
個人財務管理	117	122	104	13	77	

04年度 財管業務実績

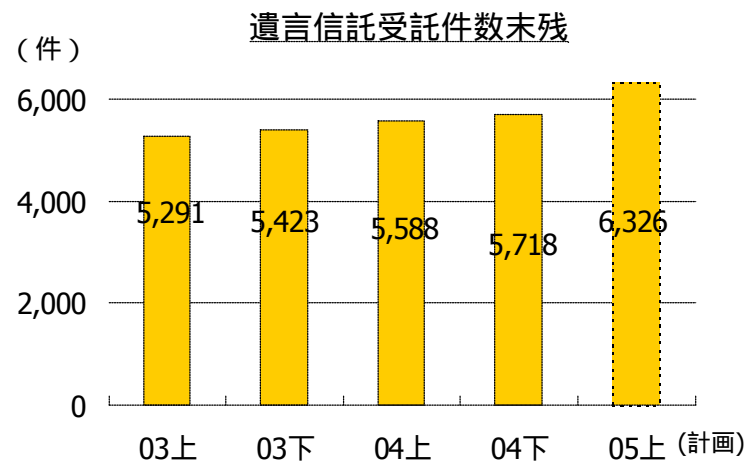
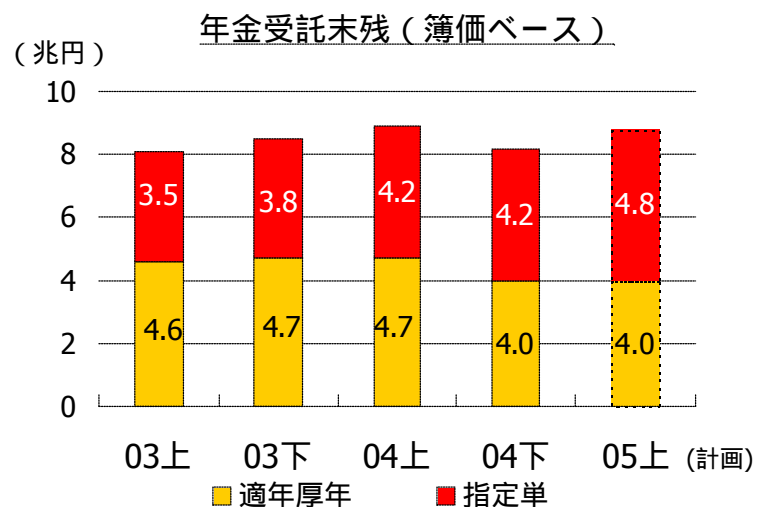
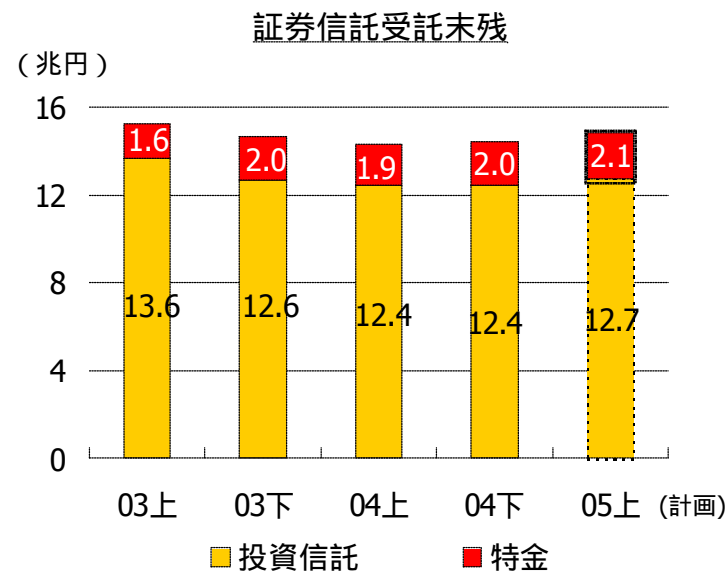
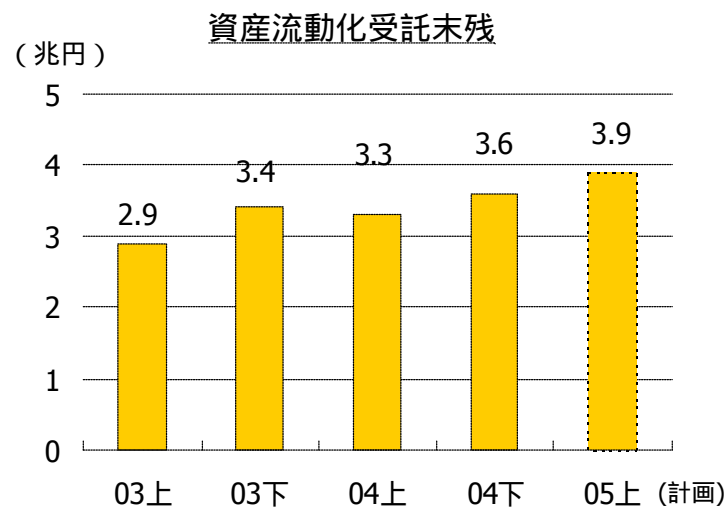
- 証券代行：既先防衛、委託替え強化により過去最高益更新
- 不動産：グループ情報連携強化に伴い、仲介+54億円、流動化受託+12億円
- 資産流動化：次世代基幹商品の本格展開に向けて体制確立
- 年金・証券業務：厚生年金代行返上によるキャッシュ流出がピークとなる一方、パッシブ運用は着実に増加
日本マスタートラストへの資産管理業務移管影響 32億円
- 個人財務管理：投信・投資型年金保険販売好調継続、相続代理店導入 (UFJ銀行)

05年度上期 主要施策

- 証券代行：I R 関連の新商品販売強化及び戦略的な増収策の推進
- 不動産：大型仲介案件取組強化、投資家向け不動産ファンドで収益積上げ
- 資産流動化：次世代基幹商品の本格展開及び新商品投入による収益確保
- 年金・証券業務：新運用プロダクト (オルタナティブ投資) 販売の徹底推進
- 個人財務管理：投信・保険の新商品投入、UFJ銀行相続代理店の本格展開



UFJ信託銀行：財務管理業務 (2)



子会社・関連会社収益

主要子会社・関連会社の収益状況 (経常利益)

連結子会社 経常利益 (1)

(億円)

	出資比率 (2)	04年度	03年度	増減
UFJつばさ証券	72.4%	172.5	220.1	47.5
泉州銀行	69.0%	89.3	47.1	42.2
UFJカード	99.9%	65.0	52.5	12.5
UFJパートナーズ投信	100.0%	25.9	3.9	21.9
UFJビジネスファイナンス	73.5%	22.5	28.0	5.4
日本ビジネスリース	85.0%	5.8	1.7	4.1
UFJアセットマネジメント	100.0%	5.1	2.2	2.8
UFJインターナショナルピーエルシー	100.0%	22.6	3.5	19.0

持分法適用会社 経常利益 (1)

(億円)

	出資比率 (2)	04年度	03年度	増減
UFJセントラルリース	30.9%	163.0	97.4	65.5
中京銀行	40.1%	86.0	47.9	38.1
カブドットコム証券	28.6%	58.9	25.7	33.1
モビット	50.0%	10.3	3.7	6.5

(1) 出資比率勘案前、海外の子会社・関連会社は税引前利益

(2) 出資比率は04年度末時点

証券ビジネス (1)

<UFJつばさ証券(連結)>

(億円)

	04年度	03年度	増減
純営業収益	824	843	19
受入手数料	520	497	23
委託手数料	278	283	5
引受・売出手数料	71	46	25
募集・売買取扱手数料	46	45	1
投資銀行業務手数料	94	63	31
トレーディング損益	247	297	50
金融収支	58	50	8
経費()	661	626	35
営業利益	163	218	54

04年度 業務実績

- 株式公募・売出手場の活況により、中小型銘柄中心に株式引受案件を獲得
- 自己資本投入ビジネスの拡大により、投資銀行業務収益は大幅増加
- レート競争激化等により株式トレーディング・金利トレーディング共に不調
- 収益の減少・新システム導入等による経費の増加により、営業利益は前年比減少

<カブドットコム証券>

(億円)

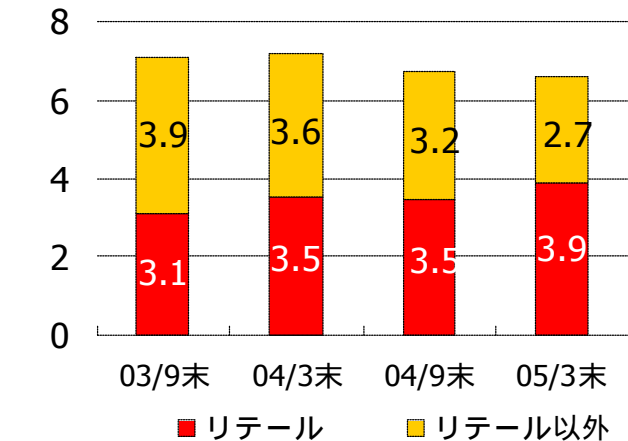
	04年度	03年度	増減
純営業収益	105	56	49
経費()	46	29	16
営業利益	59	27	32

04年度 業務実績

- 良好な株式市況を受け、預かり資産・口座数・約定金額とも大幅増加、同社発足以降、7半期連続で増収増益を達成(収益・利益とも過去最高を記録)
- 05年3月17日、東京証券取引所第一部に上場

UFJつばさ証券預かり資産(未残)

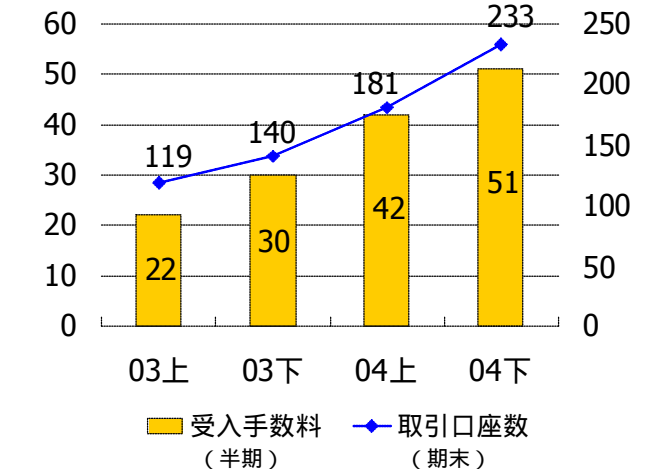
(兆円)



カブドットコム証券 受入手数料・オンライン口座数

(億円)

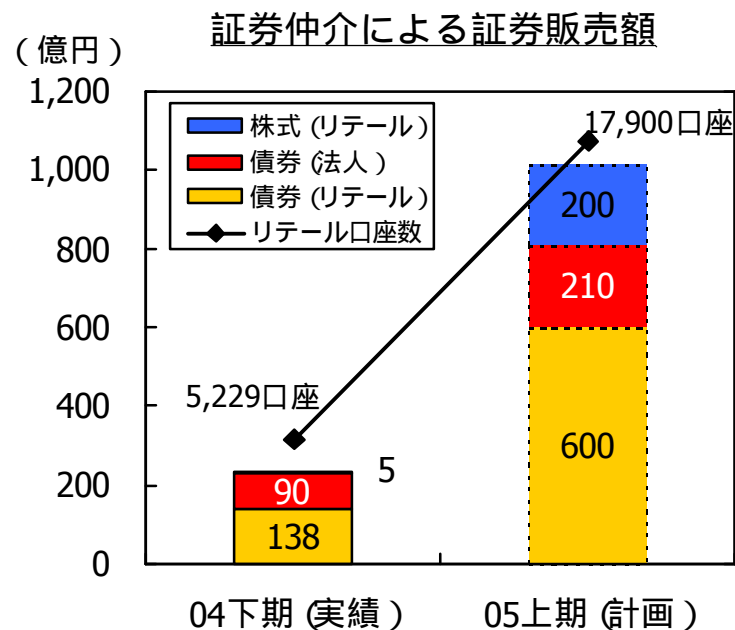
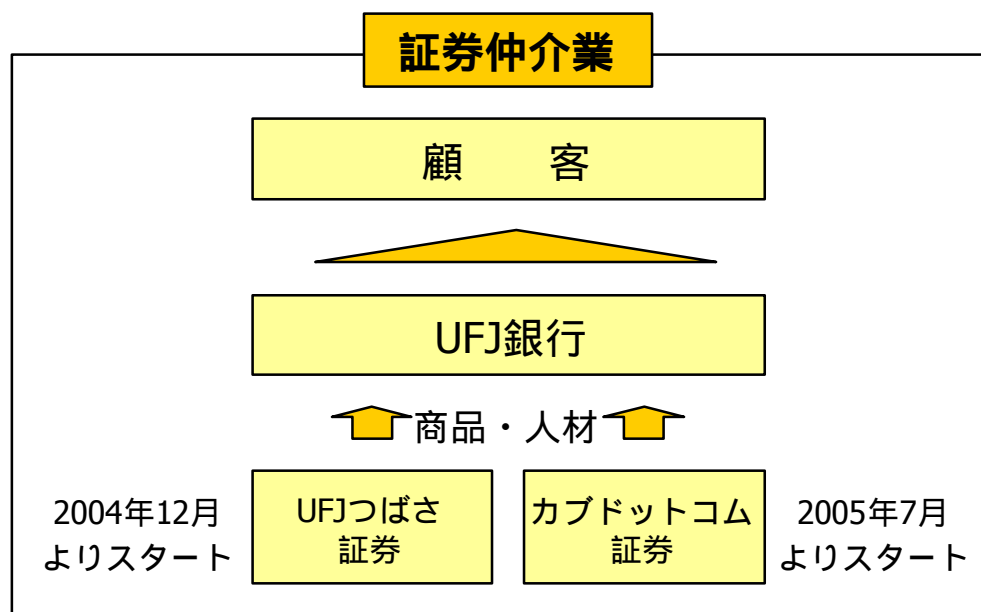
(千口座)



証券ビジネス (2)

多様化する資産運用ニーズにグループベースでワンストップサービスを提供 ～UFJ銀行において04/12月より証券仲介業務をスタート(04下期 粗利7億円)

- 国内有人店舗全店においてUFJつばさ証券の証券総合口座開設、社債・外債販売を開始
- 証券デスク(15ヶ店)で株式販売を含むフルライン仲介業務を提供
 - UFJつばさ証券からの出向者を中心に専門スタッフを配置し、きめ細かな資産運用相談を実施
- カブドットコム証券のオンライン証券仲介をスタート(2005年7月)
 - UFJ銀行インターネットバンキングからカブドットコム証券の口座開設・株式売買が可能に
- 「法人証券仲介室」にUFJつばさ証券から約10名を配置し、法人運用ニーズにも対応



資産運用ビジネス

<UFJアセットマネジメント>

(億円)

	04年度		03年度	増減	05年上期 (半期計画)
		(計画)			
営業収益	23	22	24	1	11
経費()	18	19	22	3	10
営業利益	5	3	2	3	1

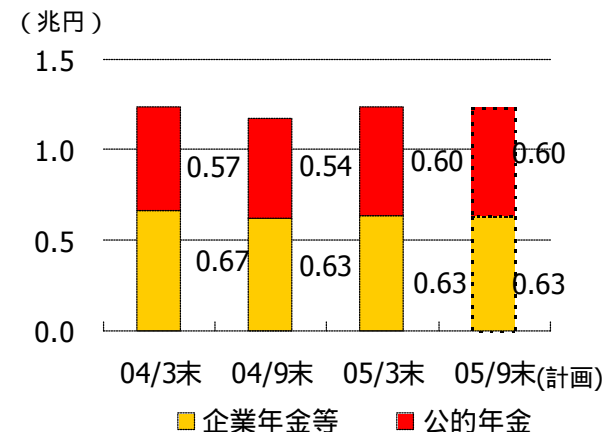
04年度 業務実績

- 公的年金残高増加、相場堅調推移と経費削減により営業利益は計画値を超過

05年度上期 主要施策

- リサーチ力強化、新プロダクト立上げ等により顧客ニーズの多様化に対応

運用残高(未残)：UFJアセットマネジメント



<UFJパートナーズ投信>

(億円)

	04年度		03年度	増減	05年上期 (半期計画)
		(計画)			
営業収益	85	86	64	21	53
経費()	67	67	63	4	38
営業利益	18	19	1	17	15

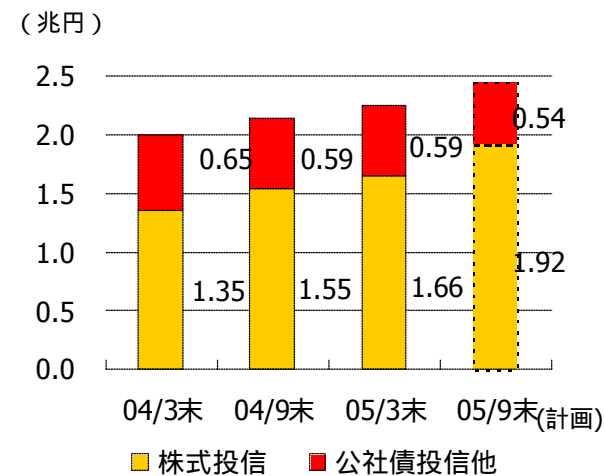
04年度 業務実績

- 株式投信：毎月分配型投信を中心に銀行窓販での販売好調により運用残高増加
- 公社債投信：低金利により資金流出傾向継続も、MRFへ資金が流入し下期は横ばい

05年度上期 主要施策

- 毎月分配型投信の更なる拡販、旗艦ファンド確立により株投運用残高を積上げ
- 公社債投信は引続き資金流出を見込む

運用残高(未残)：UFJパートナーズ投信



リース・ファクタリング ビジネス(1)

< UFJセントラルリース (連結) >

(億円)

	04年度		03年度	増減
		(計画)		
売上総利益	338	320	312	26
賃貸事業	340	-	333	7
割賦販売事業	73	-	60	13
その他の事業	28	-	26	2
資金原価()	103	-	107	4
販売費・一般管理費()	177	180	201	24
営業利益	161	140	111	50

注) 03年度は、UFJビジネスファイナンスのリース事業部門の計数を加算

2004年4月1日「UFJセントラルリース」誕生

～ セントラルリースがUFJビジネスファイナンスのリース事業部門を統合

2005年5月 東洋信総合ファイナンスの営業資産を譲受け

05/3 期損益実績

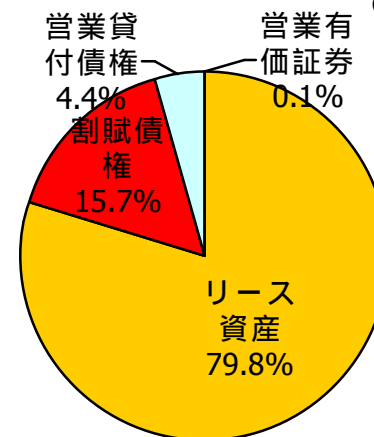
- 統合及び首都圏リース(旧あさひ銀リース)の損益連結により売上総利益は増加
- 貸倒費用大幅減により営業利益は売上総利益の増加を上回る伸び
- 3つの得意分野：工作機械、医療機器、建設機械の取扱いを更に拡大

06/3期 見込み

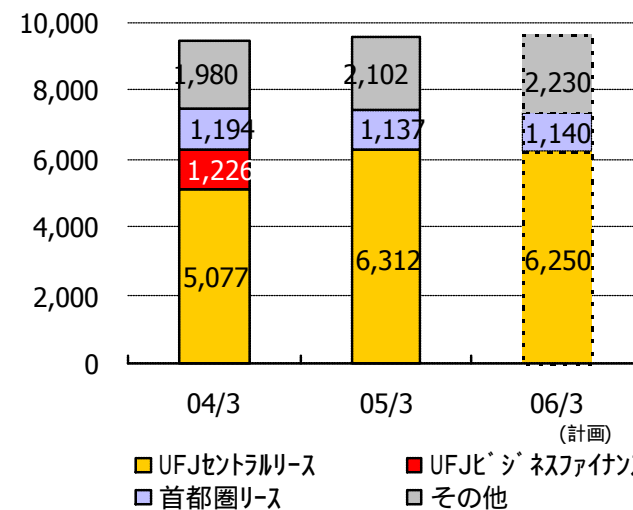
- 直接調達比率を更に高め、資金原価の低減を図る
- 2005年4月、新システム第一次稼働
～ 今後、グループ内システム共通化により連結ベースでの業務効率化を推進
- リスク対リターンを見据えた営業戦略により、更に収益性の向上を目指す

UFJCL 営業資産の内訳 (連結)

(05/3月末)



(億円) UFJCL リース資産残高 (連結)



リース・ファクタリング ビジネス(2)

<UFJビジネスファイナンス>

	04年度		03年度	増減	(億円)	
		(計画)			05年上期 (半期計画)	
営業収益	74	69	781	707	38	
リース業務	-	-	719	719	-	
ファクタリング業務	74	69	62	12	38	
経費()	53	73	753	700	27	
営業利益	21	4	28	7	11	

04年度 業務実績

- ファクタリング専業会社として再スタート、保証残高の着実な増加により営業収益は堅調
- 中間期に予想された大口貸出先1社の引当(26億円)が事業再生の進捗により不要となったため、計画を大きく上回る営業利益を計上

05年度上期 以降主要施策

- 引続き適切なリスク管理を前提とした付保取扱社数増により営業基盤の拡大を図る

- ファクタリング事業への特化により競争力を飛躍的に強化

～ 04年4月リース部門を分離
(UFJセントラルリースへ統合)
～ 保証残高は年間29%の増加
 ファクタリング 保証残高実績
(04/3) 550億円 (05/3) 708億円

- 同業他社比優位な顧客基盤・情報量を最大限活用することで、他の追随を許さないリーディングカンパニーの地位を確立

<日本ビジネスリース>

	04年度		03年度	増減	(億円)	
		(計画)			05年上期 (半期計画)	
営業収益	1,239	1,228	1,209	30	637	
経費()	1,233	1,218	1,207	26	633	
営業利益	6	10	2	4	4	

04年度 業務実績

- 新規先・新分野開拓等の営業基盤拡大により、営業利益は計画未達ながらも前期比大幅な増益

05年度上期 以降主要施策

- 独自の営業手法の一層の展開、通信マーケット取扱高拡大、中小企業向け金融商品の販売などにより収益力強化を図る

- 中小企業向けベンダーリース
～ 2001年2月に日本信販より分離
～ 2001年7月よりUFJ銀行連結対象子会社

営業資産 : 3,206億円
顧客数 : 約370千社
提携ベンダー数 : 3,000社

ベンダーリースとは...
受付・契約などを販売会社(ベンダー)が行う仕組みのリース

クレジットカード・消費者金融ビジネス

<UFJカード>

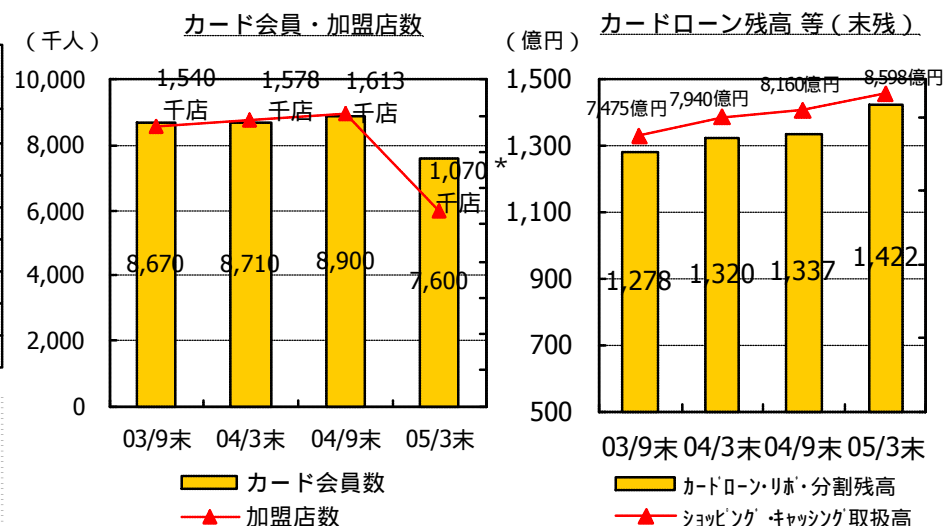
	04年度		03年度	増減	(億円)
		(計画)			05年上期 (半期計画)
営業収益	637	651	615	22	335
ショッピング収入	196	200	187	9	104
キャッシング収入	76	77	79	4	38
ローン利息	187	192	174	13	105
リボ利息	35	37	33	2	19
年会費	59	60	60	1	29
営業費用()	577	589	567	9	302
営業利益	60	62	48	12	33

04年度 業務実績

- 会員数増加にむけ大型案件獲得に注力、病院など新たな決済場面の裾野拡大
カードローン残高順調に増加

05年度上期 主要施策

- 営業力強化と新商品・サービス開発により、会員残高の増強を図る

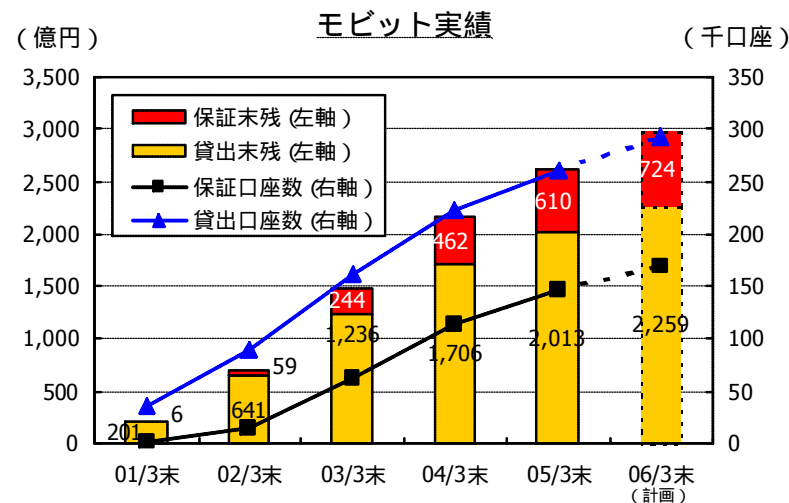


<モビット>

04年度 当期利益 10.3億円

<05/3末 貸出残高2,012億円、保証残高610億円>

- 「すぐモビ」(ローン申し込み機)、インターネット経由の申込み順調、貸出残高を着実に積上げ
~ 「すぐモビ」設置台数570台(04/9末比+39)
- 専業大手に比べ年収層の高い顧客層を取り込み
~ 年収500万円以上の新規顧客割合は37.9%(05/3期)
専業大手プロミスは19.9%(同社決算補足資料より)
- 05年度も引き続き良質資産の積上げを推進
広告宣伝活動の強化、与信モデルのさらなる高度化等により
優良顧客の獲得を推進



自己資本の状況

BIS連結自己資本比率（国際統一基準）

< HD連結、UFJ銀行連結、UFJ信託連結 >

(億円)	05年3月末			04年9月末			04年3月末		
	UFJHD	UFJ銀行	UFJ信託	UFJHD	UFJ銀行	UFJ信託	UFJHD	UFJ銀行	UFJ信託
自己資本	45,131	41,615	4,005	42,882	39,574	3,304	42,686	35,003	5,326
基本的項目 (Tier1)	23,134	21,240	3,093	22,039	20,211	2,456	21,752	17,890	3,610
資本金	10,000	12,585	2,805	10,000	12,335	2,805	10,000	8,435	2,805
資本剰余金	12,337	8,933	576	12,337	8,643	576	12,337	8,061	576
利益剰余金	13,271	7,057	279	14,460	7,567	918	7,749	5,370	320
その他有価証券の評価差損	-	-	-	-	-	-	-	-	83
その他	14,068	6,779	9	14,162	6,800	8	7,164	6,763	8
補完的項目 (Tier2)	22,786	21,109	1,798	21,591	20,068	1,692	21,752	17,890	1,759
その他有価証券の評価差益の45%	1,832	1,627	169	1,153	1,105	15	1,372	1,406	-
再評価差額の45%相当額	835	747	87	842	755	87	854	766	87
劣後ローン(債券)残高	15,590	14,814	1,154	16,188	15,309	1,154	16,718	15,862	1,160
一般貸倒引当金	5,425	4,960	386	5,400	4,927	435	5,773	5,231	511
控除項目	789	734	885	748	705	843	819	777	43
リスクアセット	434,059	396,800	30,933	432,077	394,191	34,809	461,859	418,499	41,382
自己資本比率 (%)	10.39%	10.48%	12.94%	9.92%	10.03%	9.49%	9.24%	8.36%	12.87%
Tier1 比率 (%)	5.32%	5.35%	9.99%	5.10%	5.12%	7.05%	4.70%	4.27%	8.72%

UFJ信託銀行は国内基準適用行であるが、ここでは国際統一基準にて計算。国内基準では11.93% (05年3月末)

自己資本の増減

Tier1 : 2兆3,134億円 (04/3末比 + 1,381億円)

< 主な増減要因 >

- 当期損失 5,545億円計上
- MTFGより7,000億円の資本を受入れ

Tier2 : 2兆2,786億円 (04/3末比 + 1,033億円)

リスクアセットの増減

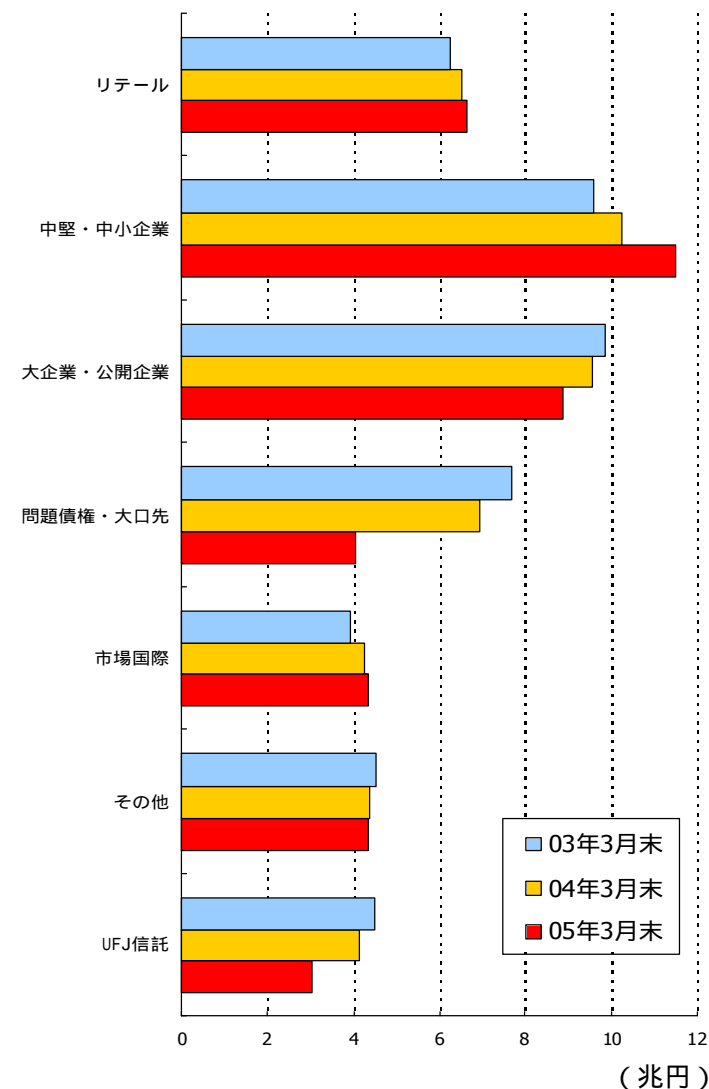
リスクアセット : 43.4兆円 (04/3末比 2.7兆円)

< 主な増減要因 >

- 貸出金* 3.6兆円
 ~ 不良債権処理に伴う債権放棄・売却・回収等を含む
- オフバランス取引* + 1.1兆円
 ~ 長期コミットメントラインなど

* リスクアセット集計上の増減を記載

部門別リスクアセット



繰延税金資産残高

< UFJ銀行単体、UFJ信託単体 >

(億円)	05年3月末		04年9月末		04年3月末	
	UFJ銀行(単)	UFJ信託(単)	UFJ銀行(単)	UFJ信託(単)	UFJ銀行(単)	UFJ信託(単)
繰延税金資産小計	21,341	2,621	21,277	2,885	19,808	2,595
貸倒引当金	7,246	194	10,244	826	10,134	473
繰越欠損金	8,749	1,310	5,248	1,465	5,766	1,596
有価証券評価損	2,642	833	2,409	450	1,250	432
退職給付引当金	280	20	259	17	235	14
その他有証評価差額金	-	-	-	14	-	42
会社分割に伴う関係会社株式	1,491	-	1,491	-	1,491	-
投資損失引当金	266	3	545	11	219	-
その他	665	259	1,078	99	929	36
評価性引当額	10,138	1,079	9,574	1,264	6,236	553
繰延税金資産合計	11,202	1,541	11,703	1,621	13,571	2,042
繰延税金負債合計	1,663	170	1,253	73	1,831	85
その他有証評価差額金	997	124	578	-	1,088	-
退職給付信託設定益ほか	666	45	675	73	743	85
繰延税金資産の純額	9,539	1,370	10,449	1,547	11,739	1,956

監査委員会報告第66号に定める例示区分の「ただし書」を適用 ～ 「非経常的要因」を除くと、過去毎年課税所得を計上～

< 課税所得実績 >

UFJ銀行

(億円)

	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度見込
法人税申告書ベース	5,101	124	1,362	15,975	3,685	7,400
非経常的要因勘案後	5,930	650	2,046	730	6,073	6,700

UFJ信託銀行

(億円)

	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度見込
法人税申告書ベース	744	600	723	1,814	1,072	704
非経常的要因勘案後	449	572	761	330	274	880

< 主な非経常的要因 >

- 「金融再生プログラム(02/10発表)」に基づく不良債権の処理による損失
- 三和銀行・東海銀行の合併やリストラ実施に起因する損失
- 「銀行等の株式等の保有の制限等に関する法律(01/11公布)」に起因する損失
- 「緊急経済対策(01/4政府発表)」に起因する損失(2年・3年ルール、5割・8割ルール含む)等

繰延税金資産の算入根拠等 (2)

< UFJ銀行、UFJ信託 >

UFJ銀行

(億円)

課税所得見積額 (5年間累計)	
実質業務純益	31,151
税引前当期利益	20,217
税務調整額	6,644
課税所得見積額	26,861

	05年3月末 一時差異等内訳	05年3月末 繰延税金資産内訳
将来減算一時差異	30,976	12,591
貸倒引当金	17,826	7,246
有価証券償却	6,500	2,642
退職給付引当金	689	280
その他	5,961	2,423
繰越欠損金	21,523	8,749
将来加算一時差異	1,638	666
退職給付信託設定益	952	387
その他	686	279
その他有価証券評価差額金	2,453	997
一時差異等合計 (+ + +)	48,408	19,677
解消スケジュールリング未定額等	24,941	10,138
繰延税金資産計上対象額 (+)	23,467	9,539

繰延税金資産の算出方法

課税所得見積額 > 解消スケジュールリング額



繰延税金資産の
回収可能性ありと判断

< 繰延税金資産 >

一時差異等解消のスケジュールリング額 × 実効税率

< 評価性引当額 >

解消スケジュールリング未定額等 × 実効税率

UFJ信託銀行

課税所得見積額 (5年間累計)	
実質業務純益	4,000
税引前当期利益	3,377
税務調整額	386
課税所得見積額	3,764

	05年3月末 一時差異等内訳	05年3月末 繰延税金資産内訳
将来減算一時差異	3,237	1,311
貸倒引当金	901	364
有価証券償却	2,057	833
退職給付引当金	50	20
その他	228	92
繰越欠損金	3,234	1,310
将来加算一時差異	112	45
退職給付信託設定益	94	38
その他	17	7
その他有価証券評価差額金	308	124
一時差異等合計 (+ + +)	6,051	2,450
解消スケジュールリング未定額等	2,666	1,079
繰延税金資産計上対象額 (+)	3,384	1,370

参考資料

主な子会社・関連会社の状況（国内）

会社名	主な業務	直近決算	総資産	借入金	うち 子銀行分 (含む保証)	資本勘定	うち子銀行 行出資分	経常利益	当期利益	連結又は持分 法の別
【国内商業銀行系】										
[リテールマーケット対象]										
(百万円)										
(株)UFJカード	クレジットカード業務	05/3月	335,204	186,957	56,548	15,451	21,011	6,500	3,430	連結
UFJ信用保証(株)	信用保証業務	05/3月	210,909	-	-	13,055	181,896	11,268	11,123	連結
フロンティア債権回収(株)	債権管理回収業務	05/3月	9,921	-	-	6,347	693	3,819	2,335	連結
(株)モビット	貸金業務	05/3月	142,486	130,563	119,063	5,527	10,000	1,035	1,031	持分法
UFJプラザ21(株)	ファイナンシャル・コンサルティング業務	05/3月	648	-	-	599	1,134	109	104	連結
日本ティ・・ピ・・ピ・(株)	金融関連コールセンター業務・ 確定拠出年金運営管理業務等	05/3月	1,399	-	-	1,222	690	27	25	連結
[法人マーケット対象]										
(株)UFJビジネスファイナンス	ファクタリング業務、融資業務	05/3月	337,269	126,750	124,750	12,060	928	2,253	1,221	連結
(株)日本ビジネスリース	リース業務、融資業務	05/3月	310,632	123,554	123,554	3,923	7,974	587	312	連結
UFJセントラルリース(株)	リース業務、融資業務	05/3月	1,307,165	582,680	125,849	42,280	5,484	16,303	6,604	持分法
UFJ総合管理(株)	当行担保不動産の競落、一時保有、管理、 売却	04/12月	5,026	-	-	307	500	64	25	連結
東洋信総合ファイナンス(株)	融資業務、リース業務	05/3月	44,893	42,745	41,790	1,100	50	663	428	連結
[全般]										
(株)泉州銀行	銀行業務	05/3月	1,804,625	12,286	-	76,700	93,620	8,931	10,176	連結
(株)大正銀行	銀行業務	05/3月	356,134	3,000	3,000	15,101	1,795	1,032	642	持分法
(株)岐阜銀行	銀行業務	05/3月	770,859	4,500	-	26,722	5,551	2,506	1,944	持分法
(株)中京銀行	銀行業務	05/3月	1,588,104	11,910	650	83,665	39,342	8,609	4,773	持分法
日本住宅無尽(株)	無尽業	05/3月	10,957	5,650	4,950	2,816	28	46	120	持分法
【投資銀行系】										
カブドットコム証券(株)	証券業	05/3月	202,771	-	-	22,264	2,204	5,891	4,014	持分法
UFJつばさ証券(株)	証券業	05/3月	4,827,124	745,274	150,024	242,122	7,456	17,256	10,854	連結
UFJアセットマネジメント(株)	投資顧問業務、投資信託委託業務	05/3月	5,080	-	-	4,750	-	513	295	連結
UFJパートナーズ投信(株)	投資信託委託業務、投資顧問業務	05/3月	57,927	-	-	51,376	-	2,595	2,601	連結
日中架け橋ファンド	投資を目的とした民法上の任意組合	05/2月	679	-	-	679	678	199	199	持分法
(株)UFJキャピタル	ベンチャーキャピタル業務	05/3月	47,270	26,200	9,500	16,627	2,425	6,122	3,347	連結
(株)ティーエムエフ	ベンチャーキャピタル業務	05/3月	4,560	9,450	9,450	4,954	15	947	1,365	連結
【その他】										
UFJIS(株)	情報処理業	05/3月	10,384	960	960	1,555	-	145	151	連結
(株)UFJ日立システムズ	情報処理業	05/3月	10,143	4,000	4,000	1,141	25	307	196	連結
UFJスタッフサービス(株)	人材派遣業	05/3月	1,459	-	-	240	150	52	21	連結
UFJトラスト土地建物(株)	不動産賃貸・管理業務	05/3月	83,082	23,475	23,475	39,991	39,170	226	7	連結
東洋システム開発(株)	システム開発・運営業務	05/3月	2,533	505	505	105	400	437	1,128	連結
UFJ住宅販売(株)	住宅仲介業務	05/3月	1,484	350	350	470	10	281	130	連結
UFJオペレーションサービス名古屋(株)	預金・為替等の後方事務受託	05/3月	511	-	-	224	111	38	110	連結
UFJストラテジックパートナー(株)	貸金業	05/3月	528,020	-	-	278,514	208,287	20,495	27,560	連結
(株)UFJエクイティインベストメンツ	有価証券の投資、保有、運用および管理	05/3月	380,696	8,415	7,415	329,697	300,000	9,336	9,744	連結
(株)UFJ総合研究所	調査研究受託業務、コンサルティング業務	05/3月	9,503	-	-	7,215	938	1,131	663	連結
UFJトラストエクイティ(株)	有価証券の投資、保有、運用および管理	05/3月	159,637	-	-	99,041	89,317	1,001	1,000	連結
ITアド・ティ・インフォメーションテクノロジーズ(株)	システム開発・運営業務	05/3月	43,241	30,890	15,445	10,421	5,000	384	276	持分法

* 04年度連結決算において対象とされた子会社・関連会社のうち、子銀行の与信額（保証も含む）・出資額が1億円超の会社について記載。

主な子会社・関連会社の状況（海外）

会社名	主な業務	直近決算	通貨・単位	総資産	借入金	うち子銀行分 (含む保証)	資本勘定	うち子銀行 行出資分	税引前 利益	当期利益	連結又は持分 法の別
【海外商業銀行系】											
UFJドイツリース会社	リース業務	05/ 3月	百万 ユーロ	13	11	11	0	0	0	0	連結
インドネシアUFJ銀行	一般商業銀行業務	04/ 12月	十億 インドネシア ルピア	8,412	1,998	1,938	1,116	805	221	152	連結
ビー・ティー・UFJ・プリ・ファイナンス	リース業務、消費者金融業務	04/ 12月	十億 インドネシア ルピア	900	754	527	123	30	42	29	連結
UFJオーストラリア・リミテッド	短中期金融業務、 その他マーチャントバンク業務	04/ 12月	百万 豪ドル	823	63	63	102	103	1	1	連結
カナダUFJ銀行	一般商業銀行業務、リース業務	04/ 12月	百万 カナダドル	513	-	-	162	170	7	4	連結
オランダUFJ銀行	銀行業務	04/ 12月	百万 ユーロ	879	15	15	66	51	1	0	連結
バンコックUFJリミテッド	金銭貸付業	04/ 12月	百万 タイバーツ	15,616	14,999	539	581	90	70	46	連結
リサ - ル商業銀行	一般商業銀行業務	04/ 12月	十億 フィリピン ペソ	183	5	-	13	0	1	1	持分法
【投資銀行系】											
UFJインターナショナルビーエルシー	銀行業務、証券業務	04/ 12月	百万 英ポンド	19,614	663	383	370	428	11	11	連結
スイスUFJ銀行	銀行業務、証券業務	04/ 12月	百万 スイスフラン	296	210	197	52	92	34	34	連結
UFJフューチャーズ	先物清算業務	04/ 12月	百万 米ドル	53	-	-	23	18	12	7	連結
【その他】											
三和テクノロジー・インベストメンツ	電子認証サービス提供会社(アイト リス社)への出資	04/ 12月	百万 米ドル	0	-	-	0	2	0	0	連結

UFJホールディングス発行済み株式

発行株式	普通株式	第一回第一種 優先株式	第二回第二種 優先株式	第四回第四種 優先株式	第五回第五種 優先株式	第六回第六種 優先株式	第七回第七種 優先株式
旧発行体		三和	三和	東海	東海	東洋信託	東洋信託
区分			公的資金	公的資金	公的資金		公的資金
発行株式数		50,000株	200,000株	150,000株	150,000株	80,000株	200,000株
発行総額		1,500億円	6,000億円	3,000億円	3,000億円	800億円	2,000億円
05.3.31株式数 (残高)	5,165,292.70株	6,543株 (196億円)	200,000株 (6,000億円)	150,000株 (3,000億円)	150,000株 (3,000億円)	8株 (0億円)	200,000株 (2,000億円)
配当率		1.25%	0.53%	0.93%	0.97%	0.53%	1.15%
優先株式転換期間		01.4.2～05.7.31	01.7.1～08.7.31	02.7.1～09.3.30	03.7.1～09.3.30	01.4.2～14.7.31	01.4.2～09.7.31
優先株エイト転換期間		98.7.1～05.7.31				01.6.5～14.7.31	
現在転換価額		750,000円	1,050,000円	(564,500円) 3.543	(564,500円) 3.543	569,600円	493,500円
現在転換比率							
下限転換価額		750,000円	1,050,000円	(564,500円) 3.543	(564,500円) 3.543	569,600円	493,500円
転換価額・転換比率 修正日(期中)		01.8.1～04.8.1 の毎年8/1 (除く2002年)	01.8.1～07.8.1 の毎年8/1	02.10.5～08.10.5 の毎年10/5	03.10.5～08.10.5 の毎年10/5	01.8.1～13.8.1. の毎年8/1	01.6.30～08.6.30 の毎年6/30
一斉転換日		2005.8.1	2008.8.1	2009.3.31	2009.3.31	2014.8.1	2009.8.1
下限転換価額 (一斉転換)		750,000円	750,000円	564,500円	564,500円	497,600円	493,000円
転換価額上方修正条項		無 (一斉転換時のみ 有)	有	有	有	無 (一斉転換時のみ 有)	無 (一斉転換時のみ 有)
現在転換価額で 転換した場合の株式数 /		26,172株	571,429株	531,444株	531,444株	14株	405,268株
下限転換価額(期中)で 転換した場合の株式数 /		26,172株	571,429株	531,444株	531,444株	14株	405,268株
下限転換価額(一斉)で 転換した場合の株式数 /		26,172株	800,000株	531,444株	531,444株	16株	405,680株
(注) 第四回第四種優先株式、第五回第五種優先株式の普通株式への転換は、規定上						現在転換価額で転換した場合の全株式数	7,231,064株
転換比率に基づき計算されるものであり、上記記載の()内の転換価額は						下限転換価額(期中)で転換した場合の全株式数	7,231,064株
便宜上算出したものです。						下限転換価額(一斉)で転換した場合の全株式数	7,460,049株

UFJホールディングス株主構成

	03/9末	04/3末	04/9末	05/3末	(%)
金融機関	31.26	29.97	29.85	27.22	
その他法人	32.21	28.55	26.93	25.21	
外国法人	22.97	31.49	30.20	36.58	
個人等	11.70	9.45	10.85	9.42	
証券会社	1.80	0.46	2.08	1.47	
政府・地公体	0.02	0.02	0.02	0.02	
自己株式	0.04	0.06	0.07	0.09	
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	

米国証券取引委員会 (SEC) への文書提出

株式会社三菱東京フィナンシャル・グループ(「MTFG」)は、株式会社 UFJ ホールディングス(「UFJ」)と MTFG の経営統合に伴い、Form F-4 による登録届出書を米国証券取引委員会(「SEC」: U.S. Securities and Exchange Commission) に提出いたしました。Form F-4 には、目論見書 (prospectus) 及びその他の文書が含まれています。UFJ は、当該経営統合を承認するための投票が行われる予定である株主総会の実施日前に、Form F-4 の一部として提出された目論見書をその米国株主各位に対して発送する予定です。Form F-4 及び目論見書には、MTFG に関する情報、UFJ に関する情報、本経営統合、及びその他の関連情報などの重要な情報が含まれています。UFJ の米国株主におかれましては、UFJ 株主総会において本経営統合について決定なさる前に、本経営統合に関連して SEC に対して提出された Form F-4、目論見書、及びその他の文書を注意してお読みになるようお願いいたします。Form F-4、目論見書、及びその他、本経営統合に関連して SEC に提出される全ての文書は、提出後に SEC のホームページ (www.sec.gov) にて無料で公開されます。なお、株主の皆様には、本経営統合に関連して SEC に提出される目論見書及びその他全ての文書を無料で配布させていただきます。配布のお申し込みは、お電話・お手紙・電子メールにて承ります。

MTFG担当者:

Mr. Hirotsugu Hayashi
〒100-6326
東京都千代田区丸の内2丁目4番1号
丸の内ビル26F
電話 : 81-3-3240-9066
メール : Hirotsugu_Hayashi@mtfg.co.jp

UFJ担当者:

Mr. Shiro Ikushima
〒100-8114
東京都千代田区大手町1丁目1番1号
電話 : 81-3-3212-5458
メール : shiro_ikushima@ufj.co.jp

さらに、MTFG は、Form F-4、目論見書、及びその他、本経営統合に関連して SEC に提出する全ての文書に追加して、年次報告書 (アニュアル・レポート) 及びその他の情報を SEC に提出することが義務づけられます。これらの SEC に提出される報告書及びその他の情報等については、SEC 内に設置されている公開閲覧室 (public reference rooms 住所 : 450 Fifth Street, N.W., Washington, D.C. 20549) 又はニューヨーク州ニューヨーク市・イリノイ州シカゴ市の公開閲覧室において閲覧・コピーが可能です。公開閲覧室に関する詳しい情報については、SEC までお電話にてお問い合わせ下さるようお願いいたします。(電話番号 : 1-800-SEC-0330) なお、SEC に提出された文書は、SEC のホームページ (www.sec.gov) 又は民間の文書検索サービスを通して入手可能です。

将来の見通しに関する記述

本書には、MTFG、UFJ、及び本経営統合完了後の事業についての将来の見通しに関する情報及び記述が含まれています。将来の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述を意味します。こうした記述には財政状態に関する見通し及び予測 (financial projections and estimates) 及びその前提、将来の事業・製品・サービス等に関する計画・目的・期待に関する記述、並びに将来のパフォーマンスに関する記述が含まれます。将来の見通しに関する記述は、一般に、期待する ("expect,") 予想する ("anticipates,") 考える ("believes") 意図する ("intends,") 予測する ("estimates") 又はその他これに類似した表現により特定されます。MTFG 及び UFJ の経営陣は、そうした将来の見通しに関する記述に反映されている期待は合理的なものであると考えますが、将来の見通しに関する情報及び記述は、様々なリスクや不確定要素により影響を受ける事にご注意下さい。その多くは予測困難かつ MTFG 及び UFJ の統御を越えたものである為、将来の見通しに関する記述の中で言及・示唆・予測されている情報及び記述は、実際の結果や状態と大きく異なる可能性があります。かかるリスクと不確定要素には、MTFG が SEC に提出した Form F-4 登録届出書に含まれる目論見書の "Cautionary Statement Concerning Forward-Looking Statements" (将来の見通しに関する記述についての注意事項) 及び "Risk Factors" (リスク要因) の項に列挙されたもの等を含めて、MTFG 及び UFJ が SEC 又はその他の現地当局へ公式に提出した文書中で検討又は指摘されている事項が含まれます。MTFG 及び UFJ は、適用法により義務づけられている場合を除き、将来の見通しに関するいかなる情報及び記述もそれを更新又は改定する義務を一切負わないものとします。